令和４年度

学 生 募 集 要 項
（一　般　選　抜）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等により、本要項に記載している選抜方法等を変更する場合があります。変更する場合は、可能な限り速やかに本学ホームページで公表します。
なお、出願にあたっては、必ず本学ホームページにて最新情報を確認するようにしてください。
奈良教育大学ホームページ　：　https://www.nara-edu.ac.jp/

学力検査日	（前期日程）　令和４年２月２５日（金） （後期日程）　令和４年３月１２日（土） （（前期日程・後期日程）追試験）　令和４年３月２３日（水）
出願登録期間	令和４年１月２４日（月）～令和４年２月４日（金） ※詳細は、４～７ページの**「２.出願手続」**をよく読んでください。
合格者の発表	（前期日程）　令和４年３月　７日（月）午前１０時 （後期日程）　令和４年３月２２日（火）午後５時 （（前期日程・後期日程）追試験）　令和４年３月２６日（土）午前１０時

奈 良 教 育 大 学

目　　次

Ⅰ. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）…… 1
Ⅱ. 募集人員等…… 2
Ⅲ. 個別学力検査等による選抜〔一般選抜（前期日程・後期日程）〕…… 3
1. 出願資格…… 3
2. 出願手続…… 4
3. 受験票の印刷…… 7
4. 選抜方法…… 7
5. 配点…… 7
6. 試験期日と時間…… 8
7. 試験場…… 8
8. 受験についての留意事項…… 8
9. 合格者の発表…… 9
10. 入学手続等…… 10
11. 欠員補充の方法…… 10
12. 個人情報の利用について…… 11
表１　令和４年度奈良教育大学入学者選抜の実施教科・科目等について …… 12
表２　実技検査等の内容・評価の観点（前期日程・後期日程共通） …… 21
表３　小論文の内容・評価の観点 …… 22
表４　面接の内容・評価の観点 …… 23
表５　専門科目の出題範囲 …… 23
Ⅳ. 新型コロナウイルス感染症への対応について…… 24
Ⅴ. 個別学力検査等による選抜〔一般選抜（（前期日程・後期日程）追試験）〕…… 29
1. 募集人員及び対象者…… 29
2. 申請手続…… 30
3. 追試験受験許可書…… 31
4. 選抜方法…… 31
5. 配点…… 31
6. 試験期日と時間…… 31
7. 試験場…… 32
8. 受験についての留意事項…… 32
9. 合格者の発表…… 33
10. 入学手続等…… 33
11. 個人情報の利用について…… 33
表Ａ　令和４年度奈良教育大学入学者選抜の実施教科・科目等について（追試験） …… 34
表Ｂ　実技検査等の内容・評価の観点（追試験） …… 39
表Ｃ　小論文の内容・評価の観点（追試験） …… 40
表Ｄ　面接の内容・評価の観点（追試験） …… 40
表Ｅ　専門科目の出題範囲（追試験） …… 41
Ⅵ. 入試情報の開示について …… 42
Ⅶ. 障害等のある入学志願者との事前相談 …… 42

※大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように表しています。

- 国語 → 国
  「国語」→「国」
- 地理歴史 → 地歴
  「世界史A」→「世A」、「世界史B」→「世B」、「日本史A」→「日A」、「日本史B」→「日B」、「地理A」→「地理A」、「地理B」→「地理B」
- 公民 → 公民
  「現代社会」→「現社」、「倫理」→「倫」、「政治・経済」→「政経」、「倫理、政治・経済」→「倫政経」
- 数学 → 数
  「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」→「数Ⅰ・数A」、「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」→「数Ⅱ・数B」、「簿記・会計」→「簿」、「情報関係基礎」→「情報」
- 理科 → 理
  「物理基礎」→「物基」、「化学基礎」→「化基」、「生物基礎」→「生基」、「地学基礎」→「地基」、「物理」→「物」、「化学」→「化」「生物」→「生」、「地学」→「地」
- 外国語 → 外
  「英語（リスニングを含む）」→「英・英リ」、「ドイツ語」→「独」、「フランス語」→「仏」、「中国語」→「中」、「韓国語」→「韓」

Ⅰ.　入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

奈良教育大学は、未来を担う子どもの育ちを支援し、学ぶ喜びを伝え、自らも人として成長したいという学生が集い、互いに学び合う場です。また、世界遺産をはじめ、数多くの貴重な文化財や豊かな自然に恵まれた環境のもと、小規模大学ならではのメリットを生かして、深い学びを実現します。

教員を目指し、ともに学ぶ仲間として、奈良教育大学教育学部では、次のような意欲と能力をもつ学生を求めます。

1．子どもの成長と発達に寄り添い関わっていく意欲をもつ人
2．教育を通じてよりよい社会を築いていく意欲をもつ人
3．文化、科学、芸術に魅力を感じ、その価値を子どもに伝えるための思考力と表現力を磨きつづける意欲をもつ人
4．他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かうことができる人
5．教育学部で主体的に学ぶために必要な基礎的学力や技能をもつ人

入学者選抜の基本方針

【教育学部】

奈良教育大学は、教育学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜、帰国生徒特別選抜並びに私費外国人留学生特別選抜により入学者を選抜します。

一般選抜では、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績と、調査書等の内容を総合して評価します。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学、問題提供大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。

なお、必ず使用するとは限りませんが、使用した場合は、個別学力検査等の終了後に本学ホームページで発表します。

詳細は「https://www.nyushikakomon.jp/」にて公表しておりますが、不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。

Ⅱ．募集人員等

課程・専攻		専修・履修分野		入学定員（名）	募集人員（名）		募集人員内訳（名） 一般選抜（注１） 前期日程	一般選抜（注１） 後期日程	総合型選抜（注２）	特別選抜（注３） 帰国生徒	特別選抜（注３） 私費外国人留学生
学校教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修		255	15		9	3	3	若干名	若干名
		心理学専修			15		9	3	3	―	
		幼年教育専修			13		8	3	2		
		特別支援教育専修			12		7	3	2		
	教科教育専攻（注４）	国語教育専修	初等教育履修分野		25	13	9	2	2	―	若干名
			中等教育履修分野			12	8	2	2		
		社会科教育専修	初等教育履修分野		25	14	10	2	2		
			中等教育履修分野			11	7	2	2		
		数学教育専修	初等教育履修分野		26	14	9	3	2		
			中等教育履修分野			12	8	2	2		
		理科教育専修	初等教育履修分野		29	17	11	4	2	若干名	
			中等教育履修分野			12	7	3	2	若干名	
		音楽教育専修	初等教育履修分野		18	14	8	4	2		
			中等教育履修分野			4	3	1	―		
		美術教育専修	初等教育履修分野		11	7	3	2	2		
			中等教育履修分野			4	3	1	―		
		保健体育専修	初等教育履修分野		19	11	6	3	2	―	
			中等教育履修分野			8	4	2	2		
		家庭科教育専修	初等教育履修分野		9	5	3	1	1		
			中等教育履修分野			4	3	1	―		
		技術教育専修	中等教育履修分野		4		2	1	1		
		英語教育専修	中等教育履修分野		12		6	4	2	若干名	
	伝統文化教育専攻	書道教育専修			15		9	5	1	―	若干名
		文化遺産教育専修			7		4	2	1		
合　計				255	255		156	59	40	若干名	若干名

（注１） 一般選抜では、申請があった場合に追試験を行います。（29 ページ「Ⅴ.個別学力検査等による選抜〔一般選抜（(前期日程・後期日程）追試験)〕」参照）

（注２） 総合型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、前期日程の募集人員に加えます。

（注３） 帰国生徒特別選抜、私費外国人留学生特別選抜の入学手続者があった場合は、前期日程の募集人員から当該数を減じます。

（注４） 一般選抜において、以下の専修については、同一専修内に限り、初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第１志望に、他方を第２志望にすることができます。いずれかの履修分野を第１志望又は第２志望としたことにより、有利又は不利に評価されることはありません。また、第２志望を選択せず、第１志望のみの出願も可能です。

【前期日程・後期日程】

国語教育専修、社会科教育専修、数学教育専修、理科教育専修、音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修、家庭科教育専修

Ⅲ．個別学力検査等による選抜〔一般選抜（前期日程・後期日程）〕

1. 出願資格

本学に入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、**令和 4 年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験した者**です。

※本学は、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

(1)　高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び令和 4 年 3 月卒業見込みの者

(2)　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和 4 年 3 月修了見込みの者

(3)　学校教育法施行規則第 150 条における以下の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者及び令和 4 年 3 月末までにこれに該当する見込みの者

① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

④ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）

⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 4 年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者

（注）上記（2）に該当する者は、高等専門学校の第 3 年次を修了した者です。

上記出願資格（3）の⑥における個別の入学資格審査について

上記出願資格（3）の⑥により出願を希望する者については、事前に個別の入学資格審査を行います。令和 4 年度入学者選抜試験においては、高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者を対象としますので、以下により申請してください。なお、不明な点がある場合は入試課へお問い合わせください。

(1)　申請期間及び申請先

申請期間：令和 4 年 1 月 17 日（月）～令和 4 年 1 月 19 日（水）（必着）

※　入学資格審査を申請する際は、必ず事前に入試課宛に電話連絡のうえ、申請してください。

申 請 先：〒630-8528　奈良市高畑町　奈良教育大学入試課

電話：0742-27-9126

申請書類を郵送する場合は、封筒表面に「大学入学資格審査申請書類在中」と朱書きするとともに、簡易書留速達郵便とすること。

(2)　申請書類

①　入学資格審査申請書

様式は、窓口、本学ホームページ（https://www.nara-edu.ac.jp/）及び郵送にて配付します。郵送による配付を希望する者は、表に「入学資格（一般選抜）審査申請書請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒（84 円分の切手を貼付し、申請者の郵便番号、

住所、氏名を明記した長形３号定形郵便封筒）を入れて、入試課まで送付してください。

② 当該学校の教育課程が高等学校の教育課程と同等であることが証明できる書類（学則など）

③ 当該学校の教育内容等が証明できる書類（カリキュラム表、授業時間数一覧など）

④ 卒業証明書又は卒業見込証明書

⑤ 返信用封筒（664 円分の切手を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形３号定形郵便封筒）

(3) 審査基準

申請者の当該学校の教育課程等（修業年限、年間及び週当たりの授業時間数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数等）が高等学校学習指導要領に準じているかを調査し、申請者の学力が高等学校を卒業した者と同等以上であるかを審査します。

(4) 審査結果の通知

審査の結果は、申請者宛に郵送により通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学入学資格認定書」を同封しますので、出願書類送付時に「奈良教育大学入学資格認定書」の写しを添付してください。

2. 出願手続

出願完了には、下記①～③の全ての手続が必要です。各手続には受付期間等（下記「（1）出願登録受付期間及び入学検定料支払期間等」参照）を設けています。いずれか一つでも手続が受付期間中に完了できていない場合、出願が受理できませんので、それぞれの受付期間等に十分ご注意ください。

① インターネットによる出願登録（登録にはＥメールアドレスが必要）

② 検定料 17,700 円（支払手数料含む。）の支払（前期日程、後期日程それぞれで支払が必要）

③ 出願書類（5 ページ）の提出（郵送）

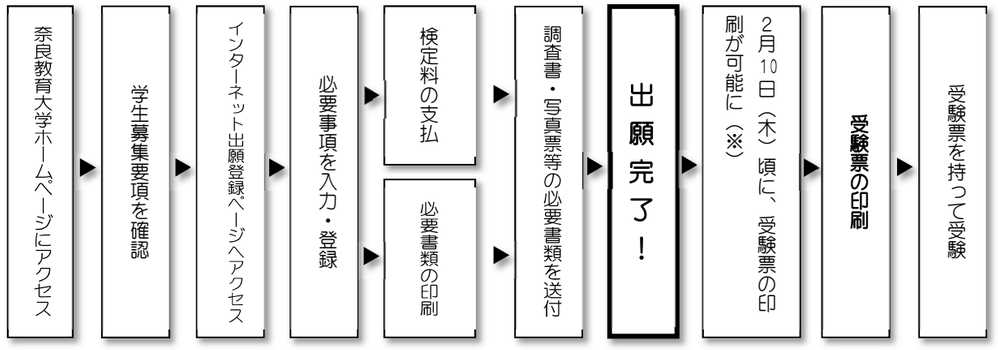
インターネット環境がない等の理由で、インターネットによる出願登録を行えない場合は、奈良教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いします。

奈良教育大学入試課：０７４２－２７－９１２６

※出願登録受付期間中、入試課窓口にて出願登録及び印刷をすることができます。

利用可能期間：出願登録期間中の平日午前９時から午後５時（正午から午後１時を除く。）

＜出願の流れ＞（注）前期日程、後期日程でそれぞれ出願登録が必要です。



（※）受験票の印刷が可能になりましたら、本学の入試情報ホームページでお知らせします。

(1) 出願登録受付期間及び入学検定料支払期間等

各手続については、定められた各期間内に完了してください。

〔出願登録受付期間〕令和４年１月24日(月)9:00～令和４年２月４日(金)17:00まで

※ 出願書類の郵送が必要であることをよく考慮して出願登録を行ってください。

※ **インターネット回線やパソコンの不具合等に備え、早めに出願するようにしてください。**

〔入学検定料支払期間〕令和４年１月24日(月)～令和４年２月４日(金)23:59まで

〔出願書類受付期間〕令和４年１月24日(月)～令和４年２月４日(金)（消印有効）

※ 出願書類受付期間中の消印がないものは受理できません。

※ 出願書類は「（3）郵送による提出が必要な出願書類」を参照。

印刷した出願用宛名ラベルを各自で準備した角型２号サイズ封筒に貼付し、**「簡易書留速達便」**で郵送してください**（入試課窓口では受け付けできません。）**。また、前期及び後期の両日程に出願する場合は、出願書類を日程ごとに整理し、１つの封筒にまとめて送付してください。

(2) インターネットによる出願登録

以下のＵＲＬ又は、右のＱＲコードからインターネット出願ページにアクセスし、「出願方法」を確認の上、出願登録を行ってください。（本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。）

出願登録ページ http://apply.nara-edu.ac.jp/guidance/net-nara-edu/

(3) 郵送による提出が必要な出願書類

	出願書類	提出該当者	様式	摘要
1	出願登録確認票 写真票 共通テスト成績請求票 〔前期日程用〕 〔後期日程用〕	全員	本学所定	出願登録後、**出願登録確認票等**を印刷し、内容をよく確認してください。 **・写真票** 所定の欄に、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。 **・共通テスト成績請求票** 出願する日程に応じた**「令和4共通テスト成績請求票」**を必ず指定箇所に貼付してください。
	写真票（副） 〔前期日程用〕 〔後期日程用〕	保健体育専修志願者のみ	本学所定	**・写真票（副）** 保健体育専修志願者のみ「写真票」と同じ写真を貼付してください。保健体育専修以外の志願者は、写真を貼付する必要はありません。
2	調査書 〔前期日程用〕 〔後期日程用〕	全員	文部科学省所定	出身学校長が作成し、**厳封**したもの（備考参照）。 前期及び後期の両日程に出願する場合は、日程ごとに1通（計2通）作成の上、提出してください。
3	スポーツ・運動歴調書 〔前期日程用〕 〔後期日程用〕	保健体育専修志願者のみ	本学所定	出願登録後、**スポーツ・運動歴調書の作成についての依頼**とともに**スポーツ・運動歴調書を**印刷してください。 高等学校等の教員を通して出身学校長に作成を依頼し、調書に記載した成績・記録を証明する資料を添付した上、**厳封**したものを提出してください。成績・記録を証明する資料は、前期及び後期の両日程に出願する場合、日程ごとに1通（計2通）提出してください。
4	自己推薦書 〔前期日程用〕 〔後期日程用〕	保健体育専修志願者のみ	本学所定	出願登録後、**自己推薦書**を印刷し所要事項を漏れなく記入してください。

（備考:調査書について）
ア. 高等専門学校第3学年修了（見込）者、文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程と認定又は指定した在学教育施設の当該課程修了（見込）者については、文部科学省所定様式に準じ作成してください。
イ. 高等学校卒業程度認定試験合格者は、合格成績証明書（免除科目のある場合は、免除申請等書類を含む。）をもって代えてください。なお高等学校等に在学したことのある者は、在学期間中の調査書又は、成績証明書を併せて提出してください。
ウ. 出身学校の廃校、指導要録保存期間の終了又は被災その他の事情で出身学校長の調査書が得られない場合には、その理由書とともに、卒業証明書及び成績通信簿又は単位修得証明書その他志願者において提出可能な書類で、これに代えることができます。なお、被災等による場合は、出身学校を所管する教育委員会、知事又は出身学校長等が作成した証明書（外国の学校卒業者等にあっては、所轄官庁などの卒業証明書等）を提出してください。
エ. 「1.出願資格」（3ページ）の（3）（ただし、⑤を除く。）のいずれかにより出願する者のうち、出身学校長の調査書が得られない場合には、卒業証明書及び、成績通信簿又は単位修得証明書で、これに代えることができます。

（4）出願上の留意事項

① **出願登録内容は、出願登録直前の「入力内容の確認」ページで必ず確認してください。**
② 検定料支払前に出願登録した内容を修正したい場合は、再度、新たに出願登録をして登録番号を取得してください。検定料の支払や出願書類提出の際は、登録内容、登録番号を必ず確認してください。
③ 出願登録のみでは出願完了となりません。必ず検定料の支払及び出願書類の送付を行ってください。
④ 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
⑤ **本学が指定した令和４年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目のうち一つでも未受験のものがある場合は、個別学力検査等は受験できませんので注意してください。**
⑥ 出願書類受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、出願後に住所・連絡先等の登録事項を変更したときは、ただちにその旨を入試課へ届け出てください。
⑦ 大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者以外は、受理した書類はいかなる理由があっても返還しません。
⑧ 前期日程及び後期日程ともに同時に出願する場合は、出願書類を日程ごとに整理し、一つの封筒にまとめてください。その際、調査書、スポーツ・運動歴調書に記載した成績・記録を証明する資料は日程ごとに１通（計２通）提出してください。
⑨ 出願書類送付の際、出願登録後の「出願書類の確認・印刷（印刷後，簡易書留速達にて郵送）」もしくは「申込確認」のページから「宛名ラベル」（PDF ファイル）を印刷し、各自で準備した角型２号サイズ封筒表面に貼付してください。
⑩ 保健体育専修志願者以外は「写真票（副）」を提出する必要はありません。
⑪ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。
ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
ウ. 大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合（手数料4,000円を除いた額を返還します。）
なお、上記ア～ウに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。
⑫ 本学は、分離分割方式（前期日程・後期日程）で個別学力検査等を実施します。
本学の「前期日程」に出願する者は、本学の「後期日程」又は他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学･学部を除く。以下同じ。）の「後期日程」に出願することができます。
本学の「後期日程」に出願する者は、本学の「前期日程」又は他の国公立大学・学部の「前期日程」に出願することができます。　　※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/nyushi）参照
⑬ 国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者又は総合型選抜合格者は、個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。ただし、当該大学・学部の定める学校推薦型選抜又は総合型選抜の辞退手続により、入学の辞退を許可された場合を除きます。
⑭ 「前期日程」の合格者で入学手続を完了した者は、「後期日程」及び「後期日程」の追試験を受験しても入学許可は得られません。
⑮ 一般選抜（前期日程及び後期日程）では、教科教育専攻の各専修（技術教育専修及び英語教育専修を除く。）で、同一専修の初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第一志望に、他方を第二志望にすることができます。なお、第一志望のみでの出願も可能です。いずれかの履修分野を第一志望又は第二志望としたことにより、有利又は不利に評価されることはありません。あくまでも両方の履修分野に出願があったものとして取り扱い選抜を行います。
⑯ **教科教育専攻理科教育専修を受験する者は、個別学力検査の科目について、「物理基礎･物理」、「化学基礎･化学」、「生物基礎･生物」、「地学基礎･地学」の中から１科目を出願時に必ず選択してください。**

【保健体育専修志願者のみ】
⑰ 保健体育専修志願者は、「スポーツ・運動歴調書」（記載内容を証明する資料を含む。）を提出してください。出願登録後、「スポーツ・運動歴調書の作成についての依頼」とともに「スポーツ・運動歴調書」を印刷し、高等学校等の教員を通して出身学校長に作成を依頼してください。
⑱ 「スポーツ・運動歴調書」は**厳封されたもの**でなければ受理しません。
⑲ 保健体育専修志願者は、「写真票（副）」に「写真票」と同じ写真を貼付し提出してください。
⑳ 保健体育専修志願者は、「自己推薦書」の所要事項を記入し提出してください。

3. 受験票の印刷

（1） 出願期間終了後、2 月 10 日（木）頃にマイページより受験票が印刷できるようになりますので受験票を印刷し、試験当日必ず持参してください。
なお、受験票の印刷が可能になりましたら本学ホームページでもお知らせします。
（2） **受験及び入学手続の際には、印刷した本学受験票及び令和 4 年度大学入学共通テスト受験票が必要です。大切に保管しておいてください。**

4. 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績、調査書等の内容を総合して成績上位者から選抜します。
（1） 本学が指定した令和４年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は、**12～20 ページの表 1** に記載のとおりです。
（2） 実技検査等の内容・評価の観点は、**21～22 ページの表 2** に記載のとおりです。
（3） 小論文の内容・評価の観点は、**22 ページの表 3** に記載のとおりです。
（4） 面接の内容・評価の観点は、**23 ページの表 4** に記載のとおりです。
（5） 専門科目の出題範囲は、**23 ページの表 5** に記載のとおりです。
（6） **音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修では、個別学力検査（実技検査）の得点（12 ページからの表 1、「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄の「実技」の得点）が満点の 1/2 未満の場合は不合格となります。**

5. 配点

大学入学共通テスト、個別学力検査等の配点は、**12～20 ページの表 1** に記載のとおりです。

6. 試験期日と時間

			前期日程　2月25日（金）		後期日程　3月12日（土）	
学校教育教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修	小論文	9:00～10:30	面　接	9:00～
		心理学専修	小論文	9:00～10:30	小論文	9:00～10:30
		幼年教育専修	小論文	9:00～10:30	面　接	9:00～
		特別支援教育専修	小論文	9:00～10:30	小論文	9:00～10:30
	教科教育専攻	国語教育専修	国　語	10:50～12:20	面　接	9:00～
		社会科教育専修	小論文	10:50～12:20	小論文	10:50～12:20
		数学教育専修	数　学	9:00～10:30	面　接	9:00～
		理科教育専修	理　科	9:00～10:30	理　科	9:00～10:30
		音楽教育専修	面　接	10:30～	面　接	10:30～
			実技検査	13:10～16:00 (※1)	実技検査	13:10～16:00 (※1)
		美術教育専修	面　接	9:30～	面　接	9:30～
			実技検査	13:10～16:30 (※2)	実技検査	13:10～16:30 (※2)
		保健体育専修	実技検査	13:10～17:00	実技検査	13:10～17:00
		家庭科教育専修	小論文	10:50～12:20	面　接	9:00～
		技術教育専修	小論文	10:50～12:20	面　接	13:10～
		英語教育専修	英　語	10:50～12:20	英　語	10:50～12:20
	伝統文化教育専攻	書道教育専修	実技検査	13:10～15:00	実技検査	13:10～15:00
		文化遺産教育専修	小論文 （選択問題として造形表現を含む）	9:00～10:30	小論文 （選択問題として造形表現を含む）	9:00～10:30

（注）実技検査については、受験者数や天候により予定時間に試験が終了しない場合があります。
（※1）午前中の受験者数等により、実技検査開始時刻が前後する場合があります。
（※2）午前中の受験者数等により、実技検査開始時刻を遅らせる場合があります。この場合、終了時刻も遅くなります。実技検査時間には、課題に関する説明20分が含まれています。

7. 試験場

奈良教育大学（奈良市高畑町）
近鉄奈良駅・JR 奈良駅より市内循環バス「高畑町（たかばたけちょう）（奈良教育大学）」下車（裏表紙参照）

8. 受験についての留意事項

(1) **試験当日は自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。**また、大学周辺には、乗降のために停車できる場所がありませんので、**自動車による送迎は自粛し、公共交通機関等を利用してください。近隣店舗駐車場や周辺路上にて送迎目的での駐停車はしないでください。**
(2) **試験当日には、各自印刷した「本学受験票」と「令和 4 年度大学入学共通テスト受験票」を必ず持参し、正門で提示してください。正門の掲示により、試験場を確認してください。**
(3) (2)の受験票を忘れたとき又は紛失したときは、ただちに、試験場本部へ申し出てください。
(4) 試験当日、各試験開始 15 分前までに掲示等の指示に従い入室してください。

(5) 試験室は掲示をよく見て確認のうえ、本学の受験番号と机上の番号が一致するよう着席し、本学受験票及び令和 4 年度大学入学共通テスト受験票を机上の右肩に置いてください。
(6) 机上には受験票、筆記用具（黒又は青のボールペン、黒鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム）、腕時計（計時機能だけのもの）以外の物は置かないでください。参考書、身のまわりの物は椅子の下にまとめて置いてください。**試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。**
(7) **試験開始後 30 分を経過して遅刻した者は受験することができません。ただし、面接試験については開始時刻に遅刻した者は受験することができません。時間帯によっては、「市内循環バス」の運行に遅れが生じることがあります。あらかじめ経路、所要時間を確認した上、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。**
(8) 面接は、午前開始の場合でも、受験者数により一部受験者の開始時刻が午後になる場合がありますので、念のため昼食を持参してください。
(9) 試験開始後は、終了するまで途中退室はできません。トイレ等による退室は監督者の指示を受けてください。なお、トイレ等の一時退室による試験時間の延長は行いません。
(10) 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
(11) 実技検査の集合時間は各試験開始時刻の 15 分前とします。なお、各集合室は掲示を確認してください。
(12) 以下の専修を受験する者は、次の物を持参してください。

- 教科教育専攻美術教育専修
  はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式(アクリル系絵の具は不可)、パレット、筆、水入れ、雑巾
  なお、立体製作の造形紙、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、仮とめ用クリップ、静物写生の紙、画板、イーゼル(画架)は、大学で用意しますので不要です。
- 教科教育専攻保健体育専修
  運動靴(屋内用と屋外用の2足)、運動服、必要に応じて、雨具(傘など)、飲料水
  ※スパイクシューズの使用は認めません。
- 伝統文化教育専攻書道教育専修
  太筆(半紙6字書き程度)、仮名用細筆、墨(墨汁も可)、硯、文鎮、練習用半紙、下敷(半紙用)
- 伝統文化教育専攻文化遺産教育専修
  鉛筆、消しゴム

(13) 教科教育専攻理科教育専修を受験する者は、個別学力検査の科目について、出願時に選択した科目しか解答できません。
(14) **本学の受験票及び大学入学共通テストの受験票は、入学手続、個人成績の開示請求等に必要ですので、紛失、汚損等のないよう大切に保管しておいてください。**
(15) **受験にあたっては、必ず 24 ページ「Ⅳ．新型コロナウイルス感染症への対応について」を確認してください。**
(16) 連絡事項があれば、大学のホームページに掲載します。
(17) 大学が受験のための宿舎等のあっせんを行うことはありません。
(18) 本要項に関して不明な点がある場合は、入試課へお問い合わせください。

9. 合格者の発表

前期日程　令和 4 年 3 月 7 日（月）午前 10 時
後期日程　令和 4 年 3 月 22 日（火）午後 5 時
本学ホームページ上で合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続に必要な書類を発送します。
なお、ホームページ上に掲載する合格者受験番号は、あくまでも情報提供サービスの一環として掲載するものであり、**正式には合格通知書で確認してください**。電話などによる照会には応じられません。

10. 入学手続等

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。
やむを得ない理由により入学手続日に手続きができない場合は、**事前に必ず連絡してください。**

(1) 入学手続日

前期日程　　令和 4 年 3 月 15 日（火）午後 5 時　郵送必着
入学手続は、**郵送**により行うことを原則とします。

後期日程　　令和 4 年 3 月 26 日（土）午前 10 時～午後 2 時 30 分（午前 11 時 30 分から午後 1 時を除く。）
入学手続は、**持参**により行うことを原則とします。

(2) 納付金

① 入学料　282,000 円（予定額）
② 授業料　前期分 267,900 円〔年額 535,800 円〕（予定額）
③ 入学時諸費用　54,010 円
（内訳：後援会費 40,000 円、同窓会費 10,000 円、学生教育研究災害傷害保険等 4,010 円）

（注）ア．既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
イ．前期分の授業料（上記②）については、令和 4 年 4 月 1 日から令和 4 年 4 月 30 日までの間に納入してください。
ウ．上記の入学料及び授業料は、令和 3 年度入学者の金額であり、令和 4 年度入学者については、変更する場合があります。
エ．在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。
オ．入学時諸費用（上記③）を納入した者が、令和 4 年 3 月 31 日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により返還します。
カ．詳細については、合格者に配付される「入学手続要領」を参照してください。

(3) 入学手続に関する事前の連絡先等

入学手続日に手続きができない場合には、次の期間に本学入試課へ申し出てください。なお、事前の連絡がない場合には、手続方法等の変更は認めません。

① 連絡先
奈良教育大学　入試課　0742-27-9126

② 期間
前期日程　令和 4 年 3 月 7 日（月）～令和 4 年 3 月 11 日（金）　午前 9 時～午後 5 時
後期日程　令和 4 年 3 月 23 日（水）～令和 4 年 3 月 24 日（木）　午前 9 時～午後 5 時

(4) 留意事項

① 入学手続日までに手続を完了しない場合は、本学への入学意思がなく、入学を辞退した者として取り扱います。
② 本学に入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。ただし、「後期日程」の合格者で入学手続を完了した者が、「前期日程」の追試験を受験し合格者となった場合にはこの限りではありません。
③ 入学後、専修ごとに、日帰り又は一泊での新入生学生研修の実施が予定されています。各専修により研修内容が異なるため、研修にかかる費用も異なりますが、宿泊を伴う場合は、10,000 円程度の費用が必要となることがあります。

11. 欠員補充の方法

入学手続（令和 4 年 3 月 26 日（土））締め切り後において、入学定員に欠員が生じた場合には、次の順序により欠員補充を行います。

(1) 追加合格による欠員補充

① 追加合格の対象者は、他の国公立大学に入学手続を行っていない者とします。
② 令和 4 年 3 月 28 日（月）以降に、該当者本人に直接電話で志願票に記入された本人連絡先に連絡をしますので、所在を明らかにしておいてください。
③ 受験番号等の掲示による発表は行いません。また、電話等による照会には応じられません。

(2) 第 2 次募集による欠員補充

上記の措置によってなお欠員があるときには、第 2 次募集による欠員補充を行います。

① 出願期日、出願書類、選抜方法、選考を行う日程等については、第 2 次募集要項として、令和 4 年 3 月 28 日（月）に発表します。
② 出願資格は、本学が指定した令和 4 年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者（出願時に大学入学共通テスト受験票の提示を求めます。）で、第 2 次募集出願時にいずれの国公立大学・学部にも入学手続を行っていない者とします。
③ 出願期間は、次のとおり予定されますが、極めて短期間なので、願書は直接本学へ持参してください（郵送不可）。なお、欠員補充第 2 次募集へ出願できるのは、一つの大学・学部に限られます。
［出願期間］（予定）　令和 4 年 3 月 29 日（火）午前 9 時から午後 3 時まで
令和 4 年 3 月 30 日（水）午前 9 時から正午まで
④ 第 2 次募集の出願後、他の国公立大学に入学手続を行った場合は、受験しても合格者とはなりません。

(3) 追加合格者及び第 2 次募集合格者の入学手続等

前記「10. 入学手続等」（10 ページ）に準じて行いますが、提出・納付の期日等については、別途本人に通知します。

12. 個人情報の利用について

出願時に登録された個人情報及び提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか下記の業務に利用します。なお、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第 9 条第 2 項に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用すること又は第三者に提供することはありません。

(1) 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。
なお、氏名及び大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報は、国公立大学における合格決定業務を円滑に行うため、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。
(2) 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身高等学校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生補導に関わる業務に利用します。
(3) 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第 1 年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
(4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
(5) その他国立大学法人奈良教育大学の定める「個人情報保護関連規則」に従って個人情報を利用します。

※「個人情報保護関連規則」については、奈良教育大学のホームページでご覧いただけます。
URL: https://www.nara-edu.ac.jp/privacy/

表１

令和４年度奈良教育大学入学者

学部・学科等名及び入学定員等				一般選抜の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
					教科	科目名等
教育学部 255名 前　期156名 後　期　59名 総合型　40名	学校教育教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修 15名 前期　9名 後期　3名 総合型　3名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A　から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B　から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 地歴公民から2科目　A 物基、化基、生基、地基 から2　⇨A又はB 選択した場合　B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1　⇨C又はD 選択した場合　D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			心理学専修 15名 前期　9名 後期　3名 総合型　3名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目　A 物基、化基、生基、地基 から2　⇨A又はB 選択した場合　B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1　⇨C又はD 選択した場合　D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			幼年教育専修 13名 前期　8名 後期　3名 総合型　2名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目　A 物基、化基、生基、地基 から2　⇨A又はB 選択した場合　B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1　⇨C又はD 選択した場合　D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			特別支援教育専修 12名 前期　7名 後期　3名 総合型　2名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目　A 物基、化基、生基、地基 から2　⇨A又はB 選択した場合　B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1　⇨C又はD 選択した場合　D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕

選抜の実施教科・科目等について　（１／４）

個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												その他の選抜方法等
教科等	科目等	試験の区分	国　語	地　歴	公　民	数　学	理　科	外国語	実　技	小論文	面　接	自己推薦書	配点合計	
その他	小論文	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 帰国生徒 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等								300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200		300			1,200	
その他	面接	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査等									300		300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800	
その他	小論文	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等								300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200		300			1,200	
その他	小論文	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査等								300			300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100		300			800	
その他	小論文	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等								300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200		300			1,200	
その他	面接	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査等									300		300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800	
その他	小論文	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等								300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200		300			1,200	
その他	小論文	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査等								300			300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100		300			800	

表1

令和４年度奈良教育大学入学者

学部・学科等名及び入学定員等				一般選抜の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
					教科	科目名等
教育学部 255名 前　期156名 後　期 59名 総合型 40名	学校教育教員養成課程	教科教育専攻	国語教育専修 25名 初等教育履修分野 13名 中等教育履修分野 12名 前期 初等教育履修分野 9名 中等教育履修分野 8名 後期 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名 総合型 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A　から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目選択した場合　A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨A又はB B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目選択した場合　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨C又はD D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			社会科教育専修 25名 初等教育履修分野 14名 中等教育履修分野 11名 前期 初等教育履修分野 10名 中等教育履修分野 7名 後期 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名 総合型 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A　から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から2 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から2 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科6科目若しくは7科目〕又は〔6教科6科目若しくは7科目〕
			数学教育専修 26名 初等教育履修分野 14名 中等教育履修分野 12名 前期 初等教育履修分野 9名 中等教育履修分野 8名 後期 初等教育履修分野 3名 中等教育履修分野 2名 総合型 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A　から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目選択した場合　A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨A又はB B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目選択した場合　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨C又はD D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科6科目若しくは7科目〕
			理科教育専修 29名 初等教育履修分野 17名 中等教育履修分野 12名 前期 初等教育履修分野 11名 中等教育履修分野 7名 後期 初等教育履修分野 4名 中等教育履修分野 3名 総合型 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A　から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1　C又はD D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A　から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1　C又はD D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕

選抜の実施教科・科目等について　（２／４）

個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												その他の選抜方法等
教科等	科目名等	試験の区分	国　語	地　歴	公　民	数　学	理　科	外国語	実　技	小論文	面　接	自己推薦書	配点合計	
国語	専門科目	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等	300										300	
		計	500	※300	※300	200	※300	200					1,200	
その他	面接	共通テスト	200	※※100	※※100	100	100	100					600	
		個別学力検査等									300		300	
		計	200	※※100	※※100	100	100	100			300		900	
その他	小論文	共通テスト	200	○200	○200	200	100	200					900	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等								300			300	
		計	200	○200	○200	200	100	200		300			1,200	
その他	小論文	共通テスト	100	○200	○200	100	100	100					600	
		個別学力検査等								300			300	
		計	100	○200	○200	100	100	100		300			900	
数学	専門科目	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	
		個別学力検査等				300							300	
		計	200	※300	※300	500	※300	200					1,200	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
その他	面接	共通テスト	100	※※100	※※100	200	100	100					600	
		個別学力検査等									300		300	
		計	100	※※100	※※100	200	100	100			300		900	
理科	専門科目	共通テスト	200	※※100	※※100	200	200	200					900	
		個別学力検査等					300						300	
		計	200	※※100	※※100	200	500	200					1,200	総合型 帰国生徒 外国人
理科	専門科目	共通テスト	200	※※100	※※100	200	200	200					900	追加合格 欠員補充
		個別学力検査等					400						400	
		計	200	※※100	※※100	200	600	200					1,300	

表1

令和４年度奈良教育大学入学者

学部・学科等名及び入学定員等				一般選抜の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
					教科	科目名等
教育学部 255名 前　期156名 後　期 59名 総合型 40名	学校教育教員養成課程	教科教育専攻	音楽教育専修 18名 初等教育履修分野　14名 中等教育履修分野　4名 前期 初等教育履修分野　8名 中等教育履修分野　3名 後期 初等教育履修分野　4名 中等教育履修分野　1名 総合型 初等教育履修分野　2名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A　から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目選択した場合　A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨A又はB 地歴公民から2科目選択した場合　B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目選択した場合　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨C又はD 地歴公民から1科目選択した場合　D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2　A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			美術教育専修 11名 初等教育履修分野　7名 中等教育履修分野　4名 前期 初等教育履修分野　3名 中等教育履修分野　3名 後期 初等教育履修分野　2名 中等教育履修分野　1名 総合型 初等教育履修分野　2名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2　A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2　A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			保健体育専修 19名 初等教育履修分野　11名 中等教育履修分野　8名 前期 初等教育履修分野　6名 中等教育履修分野　4名 後期 初等教育履修分野　3名 中等教育履修分野　2名 総合型 初等教育履修分野　2名 中等教育履修分野　2名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A　から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目選択した場合　A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨A又はB 地歴公民から2科目選択した場合　B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目選択した場合　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨C又はD 地歴公民から1科目選択した場合　D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2　A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			家庭科教育専修 9名 初等教育履修分野　5名 中等教育履修分野　4名 前期 初等教育履修分野　3名 中等教育履修分野　3名 後期 初等教育履修分野　1名 中等教育履修分野　1名 総合型 初等教育履修分野　1名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A　から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目選択した場合　A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨A又はB 地歴公民から2科目選択した場合　B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目選択した場合　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨C又はD 地歴公民から1科目選択した場合　D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2　A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕

選抜の実施教科・科目等について　（３／４）

個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												その他の選抜方法等
教科等	科目名等	試験の区分	国　語	地　歴	公　民	数　学	理　科	外国語	実　技	小論文	面　接	自己推薦書	配　点合　計	
その他	実技検査(音楽実技)面接	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等							350		100		450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	350		100		1,350	
その他	実技検査(音楽実技)面接	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査等							400		100		500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	400		100		1,000	
その他	実技検査(美術実技)面接	共通テスト	200	▲100	▲100	100	100	200					700	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等							△250		100		350	
		計	200	▲100	▲100	100	100	200	△250		100		1,050	
その他	実技検査(美術実技)面接	共通テスト	100	▲100	▲100	100	100	100					500	
		個別学力検査等							△350		150		500	
		計	100	▲100	▲100	100	100	100	△350		150		1,000	
その他	実技検査(体育実技)自己推薦書	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等							400			50	450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	400			50	1,350	
その他	実技検査(体育実技)自己推薦書	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査等							450			50	500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	450			50	1,000	
その他	小論文	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等								300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200		300			1,200	
その他	面接	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査等									300		300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800	

表1

令和４年度奈良教育大学入学者

学部・学科等名及び入学定員等				一般選抜の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名	
					教科	科目名等
教育学部 255名 前　期156名 後　期 59名 総合型　40名	学校教育教員養成課程	教科教育専攻	技術教育専修 4名 中等教育履修分野　4名 前期 中等教育履修分野　2名 後期 中等教育履修分野　1名 総合型 中等教育履修分野　1名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A　から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目　A 物基、化基、生基、地基 から2　⇨A又はB 選択した場合　B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1　⇨C又はD 選択した場合　D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
		伝統文化教育専攻	書道教育専修 15名 前期　9名 後期　5名 総合型 1名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目　A 物基、化基、生基、地基 から2　⇨A又はB 選択した場合　B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1　⇨C又はD 選択した場合　D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目若しくは5科目〕
			英語教育専修 12名 中等教育履修分野　12名 前期 中等教育履修分野　6名 後期 中等教育履修分野　4名 総合型 中等教育履修分野　2名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目　A 物基、化基、生基、地基 から2　⇨A又はB 選択した場合　B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1　⇨C又はD 選択した場合　D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
		文化遺産教育専攻	文化遺産教育専修 7名 前期　4名 後期　2名 総合型 1名	前　期 2月25日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1又は2 地歴公民から2科目　A 物基、化基、生基、地基 から2　⇨A又はB 選択した場合　B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目　C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1　⇨C又はD 選択した場合　D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科7科目若しくは8科目〕又は〔6教科7科目若しくは8科目〕
				後　期 3月12日	国 数 地歴 公民 理 外	国　必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報　から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経　から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1　A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓　から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕

◆ 3教科4科目又は4教科4科目若しくは5科目

選抜の実施教科・科目等について　（４／４）

個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												その他の選抜方法等
教科等	科目名等	試験の区分	国　語	地　歴	公　民	数　学	理　科	外国語	実　技	小論文	面　接	自己推薦書	配点合計	
その他	小論文	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等								300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200		300			1,200	
その他	面接	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査等									300		300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800	
英語	専門科目	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 帰国生徒 外国人
		個別学力検査等						300					300	
		計	200	※300	※300	200	※300	500					1,200	
英語	専門科目	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	200					600	追加合格 欠員補充
		個別学力検査等						300					300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	500					900	
その他	実技検査 (書道実技)	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等							450				450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450				1,350	
その他	実技検査 (書道実技)	共通テスト	200	◎100	◎100	100 ◎100	◎100	100					500	
		個別学力検査等							500				500	
		計	200	◎100	◎100	100 ◎100	◎100	100	500				1,000	
その他	小論文 (選択問題として造形表現を含む)	共通テスト	200	※300	※300	200	※300	200					900	総合型 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査等								450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200		450			1,350	
その他	小論文 (選択問題として造形表現を含む)	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査等								500			500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100		500			1,000	

表１における留意事項

1. 複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験した場合は、地理歴史、公民及び理科（基礎を付していない科目2科目）については第1解答科目の成績を、数学については高得点の科目の成績を用います。ただし、理科について、基礎を付した科目（2科目合計）及び基礎を付していない科目1科目を受験した場合はどちらか高得点の科目の成績を用います。
2. 美術教育専修については、複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験した場合は、地理歴史、公民から2科目を受験した場合及び理科（基礎を付していない科目2科目を受験した場合、又は基礎を付した科目（2科目合計）及び基礎を付していない科目1科目を受験した場合）、数学は、いずれもどちらか高得点の科目の成績を用います。
3. 外国語のうち「英語」を選択した場合は、リーディング（100点満点）を160点満点に、リスニング（100点満点）を40点満点に換算し、合わせて200点満点とします。リスニング免除者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算するものとします。
   なお、各専修で定めた配点が200点満点でない場合は、更にそれを各専修が定めた配点に換算するものとします。
4. 理科において、基礎を付した科目から2科目、基礎を付していない科目から1科目選択する場合、**同一名称を含む科目を選択しても構いません。**下記の例のような選択が可能です。

   例：基礎を付した科目→物理基礎、化学基礎
   　　基礎を付していない科目→化学

5. ※は選択教科を示し、地理歴史、公民及び理科を合わせて4科目以上受験した場合は、次のとおり成績を用います。

受験パターン			成績利用方法
I	地理歴史 公民	2科目	地理歴史、公民の第１解答科目及び次の①かつ② ①理科の基礎を付した科目（2科目合計）と基礎を付していない科目のうち高得点の科目 ②地理歴史、公民の第２解答科目と上記①以外の科目のうち高得点の科目
	理科	基礎を付した科目（2科目合計）及び基礎を付していない科目（1科目）	
II	地理歴史 公民	2科目	地理歴史、公民の第１解答科目及び次の①かつ② ①理科の基礎を付していない科目の第１解答科目 ②地理歴史、公民と理科の基礎を付していない科目の第２解答科目のうち高得点の科目
	理科	基礎を付していない科目２科目	

6. ※※は選択教科を示し、地理歴史、公民の第1解答科目の成績を用います。
7. ○は選択教科を示し、地理歴史、公民から2科目の成績を用います。
8. ▲は地理歴史、公民から２科目を受験した場合、高得点の科目の成績を用います。
9. △の配点内訳は、紙による立体製作を実技検査点数全体の 1/3、静物写生を実技検査点数全体の 2/3 とします。
10. ◆で理科を選択する場合は、Ａ又はＢから選択します。
11. ◎は地理歴史、公民の第１解答科目、理科の基礎を付した科目（2科目合計）、理科の基礎を付していない科目の第１解答科目、数学（数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報）から高得点の科目の成績を用います。

表２

実技検査等の内容・評価の観点（前期日程・後期日程共通）

<table>
<tr><th colspan="2">専攻・専修</th><th>内　容　・　評　価　の　観　点</th></tr>
<tr><td rowspan="2">教科教育専攻</td><td>音楽教育専修</td><td>【検査内容】
以下の課題により、音楽的能力、理解力及び表現力をみます。
<table><tr><td>共通種目</td><td colspan="2">新曲視唱（8小節程度の旋律を階名視唱する。）</td></tr><tr><td rowspan="3">選択種目</td><td>A</td><td>ピアノと声楽
1.　古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章
2.　下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。
(1) Sebben,crudele　Cardara　二短調又はホ短調（いずれかを選択）
(2) Lasciar d'amarti　Gasparni　ヘ短調
(3) Sogno　Tosti　変ロ長調又は変イ長調（いずれかを選択）
(4) 椰子の実　大中寅二　イ長調又はト長調（いずれかを選択）
(5)浜辺の歌　成田為三　変イ長調又はヘ長調（いずれかを選択）
(6)夏の思い出　中田喜直　ヘ長調又は変ホ長調（いずれかを選択）</td></tr><tr><td>B</td><td>管楽器とピアノ
1.　管楽器は任意の楽曲又は練習曲（1曲）
2.　古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章</td></tr><tr><td>C</td><td>邦楽器とピアノ
1.　邦楽器（箏又は三味線）の任意の楽曲（1曲）
2.　古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章</td></tr></table>【評価の観点】
新曲視唱、ピアノ、声楽・管楽器・邦楽器の検査により、音楽科を担当する教師としての資質、音楽的表現力について評価します。
【持ち物】
選択種目Bを選択する者は音楽実技種目に記入した楽器を、Cを選択する者は邦楽器を各自持参してください。
【備考】
(1) 新曲視唱については、主和音、開始音のみ与えます。
(2) 選択種目はA・B・Cのうち、いずれか1つを選択してください。声楽曲は、調性を選んで記入してください。なお、出願後の変更は認めません。
(3) 選択種目はすべて暗譜で演奏してください。
(4) ピアノ、声楽及び管楽器の楽曲は、繰り返しを行わないこととします。
(5) 管楽器、邦楽器については、リハーサル室を設けますが、ピアノと声楽については、リハーサル室はありません。
(6) 選択種目Bの管楽器は、吹奏楽で使用される管楽器に限ります。
(7) 選択種目は入学後の専門領域を意味するものではありません。
(8) 新型コロナウイルス感染症対策のため、新曲視唱、ピアノ実技検査はマスクを着用したままで行います。マスク着用による発音の不明瞭さ、声量の大小は審査に影響はありません。</td></tr>
<tr><td>美術教育専修</td><td>【検査内容】
以下の2課題を行います。
1. 紙による立体製作　1課題　1時間
＜Ｂ３判の両面色違いの造形紙（厚口５枚組）＞と＜Ｂ４判の両面色違いの造形紙（薄口５枚組）＞を使い、「優勝記念のトロフィー」「不思議な海賊船」「四本の足で立つ想像上の動物」「丈夫な塔」「恐ろしい花」「生き物の巣」「未来の建築」「怒りの仮面」などといった図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマで立体を作ります。
※当日はテーマを一つ指定しますが、上記のテーマはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。
2. 静物写生（着彩）　1課題　2時間
身近にある２つ程度のモチーフ［プラスチック容器、コップ、金属の缶、ハケ、布テープ、電球、スプレー型容器、マスク、箱型容器（洗剤）、タオル、ボックスティッシュ、軍手、食品用ラップ、紙袋、テニスボールなど］を机上に自由に組み合わせておき、Ａ３判画用紙に描きます。
※上記のモチーフはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。
【検査時間・配当時間】
上記の配当時間は、おおよその目安ですので、合計3時間の中で自分の計画にあわせて変えてかまいません。またこの合計3時間のほかに、「説明及び準備時間」をとります。
【評価の観点】
1.紙による立体製作課題について
発想・構想に工夫は見られるか、紙の特徴を生かしたつくり方（山折り、谷折り、じゃばら折りなど図画工作・美術の授業で用いる技法）をしているかなどを総合的にみます。
2.静物写生（着彩）について
形、材質感を捉えて表現できたか、色や画面構成は良いかなどを総合的にみます。
1、2の課題を通じて、図画工作や美術の授業で、子どもたちに創造活動の楽しさを味わわせることができる基盤となる資質・能力が備わっているのかをみます。
【持ち物】
はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式（アクリル系絵の具は不可）、パレット、筆、水入れ、雑巾を持参してください。その他の用具は持参してはいけません。
なお、立体製作の造形紙、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、仮とめ用クリップ、静物写生の紙、画板、イーゼル（画架）は、大学で用意するので不要です。</td></tr>
</table>

教科教育専攻	保健体育専修	【検査内容】 以下の3領域において、5種目の検査を行います。 1. 陸 上 運 動（50m走及びハンドボール投げ） 2. 器 械 運 動（鉄棒運動及びマット運動） 3. ボール運動（ドッヂボールを使った運動） 【評価の観点】 上記の課題によって、基本的な運動能力を総合的に評価します。 【持ち物】 運動靴（屋内用と屋外用の2足）・運動服を持参してください。また、必要に応じて、雨具（傘など）・飲料水を持参してください。 【備考】 (1) スパイクシューズの使用は認めません。 (2) 着替えやウォーミングアップについては、集合時に指示します。 (3) 雨天時には、上記の実技内容が一部変更されることがあります。
伝統文化教育専攻	書道教育専修	【検査内容】 以下の課題により、高校『書道Ⅰ』、『書道II』教科書に掲載されている古典程度の基礎的な書道の表現能力をみます。 1. 臨書　漢字（楷書・行書）、仮名。いずれも半紙使用 2. 創作　半紙使用（漢字及び仮名の課題を指定するので、いずれかを選択して創作してください。） 【評価の観点】 1の課題について 課題となっている古典の特徴を捉え、点画の用筆表現ができているか、指定された文言が半紙にバランスよく収めることができているかをみます。 2の課題について 漢字、仮名ともに、基本点画の用筆法ができているか、文字構造がしっかり形どられているかをみます。 1、2の課題を総合的に採点し評価します。 【持ち物】 太筆（半紙6字書き程度）、仮名用細筆、墨（墨汁も可）、硯、文鎮、練習用半紙、下敷（半紙用）を持参してください。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、検査内容等が一部変更となる場合があります。

表3　小論文の内容・評価の観点

専攻・専修		区分	内容・評価の観点
教育発達専攻	教育学専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 （専攻共通問題1問、専修からの問題1問、計2問出題します。）
	心理学専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 （専攻共通問題1問、専修からの問題1問、計2問出題します。）
		後期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。
	幼年教育専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 （専攻共通問題1問、専修からの問題1問、計2問出題します。）
	特別支援教育専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 （専攻共通問題1問、専修からの問題1問、計2問出題します。）
		後期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。
教科教育専攻	社会科教育専修	前期日程 後期日程	現代の社会に関する諸問題についての関心や知識を幅広く持っていることをみるために、人文、社会等の分野から選んだテーマに即して論述解答させます。出題の意図を正確に把握し、論理的に自分の考えや意見を述べることができるかどうかをみます。
	家庭科教育専修	前期日程	現代の家庭生活をとりまく諸問題について、関心や知識、科学的思考力を幅広く持っているかをみます。出題の意図を理解し、論理的に自分の考えが述べられているか、文章構成力・表現力があるかなどを総合的に評価します。
	技術教育専修	前期日程	技術、ものづくりに関する考え方、発想などを問う問題を出題し、記述の論理性、発想の豊かさ、文章表現力などを総合的に評価します。
伝統文化教育専攻	文化遺産教育専修	前期日程	まず文化遺産とその教育への活用方法に対する考え方を総合的にみます。さらに、中学校美術免許取得を希望する者に対しては、与えられたモチーフの形体、材質感などを的確に捉えて抽出できたか、また構成は良いかなどに関する造形表現力をみます。中学校理科免許取得を希望する者に対しては、文化遺産に関連する自然科学の理解と認識をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。
		後期日程	まず文化遺産に関する基礎知識と、対象観察力・文章表現力を総合的にみます。さらに、中学校美術免許取得を希望する者に対しては、与えられたモチーフの形体、材質感などを的確に捉えて抽出できたか、また構成は良いかなどに関する造形表現力をみます。中学校理科免許取得を希望する者に対しては、文化遺産に関連する自然科学の理解と認識をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。

表4　面接の内容・評価の観点

専攻・専修		区分	内容・評価の観点
教育発達専攻	教育学専修	後期日程	集団面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。
	幼年教育専修	後期日程	集団面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育（保育）についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。ただし、志願者数により、個人面接となることがあります。
教科教育専攻	国語教育専修	後期日程	集団面接の形式で、本専修を志望した動機、教科内容に関する知識、入学後の学習計画、教職への意欲などについて問い、関心・意欲・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、個人面接となることがあります。
	数学教育専修	後期日程	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（ベクトル、数列）に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	音楽教育専修	前期日程 後期日程	集団面接の形式で、志望の動機、音楽科教育についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。
	美術教育専修	前期日程 後期日程	個人面接の形式で、本専修を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い、関心・意欲・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。 ※ポートフォリオなどを、面接に持参することはできません。
	家庭科教育専修	後期日程	個人面接の形式で、本専修を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い、関心・意欲・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	技術教育専修	後期日程	個人面接の形式で、本学を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、面接の形式が変更となる場合があります。

表5　専門科目の出題範囲

専攻・専修		科目	区分	出題範囲
教科教育専攻	国語教育専修	国語	前期日程	国語総合、現代文B、古典B
	数学教育専修	数学	前期日程	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（ベクトル、数列）
	理科教育専修	理科	前期日程 後期日程	①「物理基礎・物理」 ②「化学基礎・化学」 ③「生物基礎・生物」 ④「地学基礎・地学」 いずれか選択 （注）選択科目しか受験できません。
	英語教育専修	英語	前期日程	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語基礎、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅱ、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ
			後期日程	英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ

Ⅳ．新型コロナウイルス感染症への対応について

令和４年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン（令和３年６月４日付け大学入学者選抜協議会決定）（以下「ガイドライン」という。）等を踏まえ、教育学部一般選抜（前期日程・後期日程）受験にあたっての新型コロナウイルス感染症予防対策等については、下記のとおりとします。

受験者は、下記事項に十分留意のうえ、試験当日まで感染予防と体調管理に努めてください。また、**【試験当日までの対応】**等についても遺漏のないようよろしくお願いします。

なお、下記事項に変更等がある場合は、本学ホームページでお知らせしますので、最新の情報に注意してください。

＜一般選抜（前期日程・後期日程）を受験することができない者（追試験申請対象者）＞

次の各項目に該当する場合は、受験することができません。「（前期日程・後期日程）追試験」の受験を申請してください。（29 ページ参照）

① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者

② 試験当日、健康状態チェックリスト（28 ページ参照）による確認の結果、Ａ欄で１項目以上又はＢ欄で２項目以上該当する者

③ 保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者※

※無症状の濃厚接触者から受験希望の申し出があり、決められた要件を満たしている場合は、原則として当初試験日での受験を認めることとします。（下記、【無症状の濃厚接触者への対応】を参照してください。）

④ 海外から日本へ入国後の待機期間中の者

【試験当日までの対応】

○ 日頃から、手洗いや手指の消毒、マスク等の咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避等を行うとともに、混み合った場所への外出は極力自粛するなど、感染防止に努めてください。また、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理を心がけてください。

（参考）受験生のみなさんへ ～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～
https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext_daigakuc02-000005144_1.pdf

○ 試験日の７日程度前から、朝などに体温測定を行うとともに、28 ページの健康状態チェックリストを活用し、体調の変化の有無を確認してください。

○ 試験日の２週間程度前から、発熱、咳等の症状がある受験者は、あらかじめ医療機関を受診してください。

○ ガイドラインにおいて、他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において、予防接種を受けておくことが望ましいとされています。

○ 新型コロナウイルス感染症に罹患するなど、「（前期日程・後期日程）追試験」申請対象者に該当する場合は、申請受付期間内に必要な申請手続を行ってください。（追試験申請対象者、申請方法等については 29 ページ参照）

【無症状の濃厚接触者への対応】

○ 無症状の濃厚接触者※から受験希望の申し出があり、次のいずれの要件も満たしている場合は、原則として受験を認めることとします。なお、終日別室受験となることから、面接及び実技の方法等が変更となる場合があります。

※濃厚接触者とは、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者を指します。

ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等によっては、「（前期日程・後期日程）追試験」の受験申請を案内する場合があります。

① 初期スクリーニング（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するＰＣＲ等の検査（行政検査））の結果（一般のクリニック等での検査では受験要件は満たしません。）、陰性であること。

※ 検査結果が判明するまでは受験することができないため、その場合は「（前期日程・後期日程）追試験」の受験を申請してください。（29 ページ参照）

② 試験当日も無症状であること。（試験当日、入口で必ず係員に申し出ること。）

③ 公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に来ることができること。（試験当日、自家用車等を利用して試験場に来場することを認めます。）

④ 終日、別室で受験すること。

○ 無症状の濃厚接触者からの受験希望の申し出は、**「試験前日の午前１０時まで」**、入試課で受け付けます。受験希望の申し出は、**必ず事前に電話連絡**の上、次の事項について「自署した書面（様式任意）」を FAX 又は E-mail（PDF データ添付）で、入試課に送付してください。E-mail の場合は件名を「無症状濃厚接触者受験希望」としてください。なお、FAX 又は E-mail の送信後、入試課へ電話連絡し、書類等が到着しているか必ず確認してください。

〔申出時に報告が必要な事項〕

・受験番号及び氏名
・受験予定専攻・専修・履修分野名
・連絡先（住所、電話番号（自宅及び携帯））
・濃厚接触者に該当すると判断した保健所の名称
・保健所から濃厚接触者に該当すると連絡があった日
・保健所から健康観察期間として不要不急の外出を控えるよう指示されている期間
・自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するＰＣＲ等の検査（行政検査）（一般のクリニック等での検査では受験要件を満たしません。）
・試験当日の試験場への来場方法（自家用車（車種及び車両番号を明記）等）
・試験当日の緊急連絡先（氏名、続柄及び連絡先（携帯番号））

【マスクの着用が困難な者への対応】

○ 感覚過敏等により、試験当日にマスクを着用することが困難な者は、「受験上の特別な措置（別室受験）」について、**必ず入試課に電話連絡**の上、事前に相談してください。なお、終日別室受験となることから、面接及び実技の方法等が変更となる場合があります。

マスクを着用することが困難である旨、事前に相談がなかった者については、当日の受験は認めませんので、十分注意してください。

〔相談の期日〕

令和 4 年 1 月 19 日（水）まで（必着）

〔相談の方法〕

次の事項について「自署した書面（様式任意）」に「医師の診断書」を添付し、上記「相談の期日」までに入試課あて提出してください。

・受験番号、氏名及び出身学校
・受験予定専攻・専修・履修分野名
・受験上の特別な措置を希望する事項（マスクの着用が困難であること及び別室受験を希望することを明記してください。）
・出身学校でとられていた特別な措置等
・連絡先（住所、電話番号（自宅及び携帯））

【試験当日の対応】

○　試験当日の朝、必ず検温を行うとともに、28 ページの健康状態チェックリストにより、体調の変化の有無を確認してください。確認の結果、健康状態チェックリストのＡ欄で１項目以上又はＢ欄で２項目以上該当する場合は受験することができませんので、医療機関を受診してください。この場合、「（前期日程・後期日程）追試験」の受験を申請することができますので、申請受付期間内に必要な申請手続を行ってください。（29 ページ参照）

　なお、上記に該当しないものの、発熱や咳等の症状のある受験者は、試験会場入口において、その旨係員に必ず申し出てください。

○　各自マスク（予備のマスクを含む。）を持参し、試験会場では昼食時以外は常にマスクを正しく着用してください（鼻と口の両方を確実に覆うこと）。ただし、本人確認のために行う写真照合の際には、監督者からの指示でマスクを一旦取り外していただく場合があります。なお、フェイスシールド及びマウスシールドの着用では、受験することができません。

（参考）正しいマスクの付け方（厚生労働省ＨＰより）

https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593493.pdf

https://www.youtube.com/watch?v=VdyKX4eYba4

○　休憩時間や昼食、入退室時等における他者との接触や会話は極力控え、自席以外に座らないでください。

○　試験会場では、学生食堂の営業等は行わないため、各自、試験が午後に及ぶ場合は、必ず昼食を持参し、監督者の指示の下、指定された時間内に、試験室（待機室）内の自席で食事をとるようにしてください。

○　トイレを使用する場合は、フロアの誘導表示に従うなど混雑を避けて使用し、会話を極力避け、使用後の手洗いを徹底してください。また、手洗い後に使用するハンカチ、ハンドタオル等は各自持参してください。

○　監督者等の試験実施関係者もマスク等を着用します。なお、監督者の指示が聞き取りづらい場合は申し出るようにしてください。

○　試験会場には、「手指消毒用アルコール液」を設置しますので、試験室への入退室を行うごとに、必ず手指の消毒を行ってください。

○　何らかの事情により、手指消毒用アルコール液等を使用することが難しい場合は、受験者自身でこれに代わるものを準備し、手指消毒を行うようにしてください。

○　試験室の換気を行うため、窓の開放等を行う場合があります。換気中は、一時空調が効きづらくなる場合がありますので、上着等で調整ができるよう予め準備しておいてください。

○　試験時間中に、明らかに激しい咳を何度もしているなど、他の受験者に影響があると監督者が判断した場合には、咳をしている受験者の受験を中断して休養室等へ移動してもらい、症状等の確認後、追試験の受験を申請してもらうことがあります。

【試験終了後の対応】

○　試験室からの退室は、監督者の指示に従ってください。

○　試験会場ではマスクを廃棄しないでください。使用済みのマスクは、ビニール袋に入れるなど、必ず持ち帰ってください。

○　試験終了後は、他者との接触、会話は極力控え、なるべくまっすぐ帰宅し、帰宅後は手や顔を洗うようにしてください。

○　試験終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合は、入試課へ連絡してください。

【その他】

○　試験場への入場者数や集団の形成を抑制する観点から、試験当日、原則として保護者控室は設置しませんのでご留意ください。（ただし、受験にあたって、受験者への付き添いが必要と本学が認めた場合を除きます。）

○　ガイドラインにおいて、「新型コロナウイルス接触確認アプリ（ＣＯＣＯＡ：COVID-19 Contact Confirming Application）」は、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができ、その後の検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができることから、このアプリを活用することが望ましいとされています。なお、通知を受けたことが直ちに濃厚接触者であることを意味するものではありませんので、注意してください。

健康状態チェックリスト

試験当日の朝、必ず本チェックリストにより、確認を行ってください。

	確　認　項　目	確 認 結 果	
A	発熱の症状がある（37.5 度以上） 〔　　度〕← 検温結果を記入してください。	□はい	□いいえ
	息苦しさ（呼吸困難）がある	□はい	□いいえ
	強いだるさ（倦怠感）がある	□はい	□いいえ
B	味を感じない（味覚障害がある）	□はい	□いいえ
	臭いを感じない（嗅覚障害がある）	□はい	□いいえ
	咳の症状が続いている	□はい	□いいえ
	咽頭痛が続いている	□はい	□いいえ
	下痢をしている（持病や食あたりなど新型コロナウイルス感染症以外の原因が推測されるものを除く）	□はい	□いいえ
	過去２週間以内に、同居している者で医療機関を受診して新型コロナウイルス感染症の罹患が疑われ、かつ、その疑いが否定されないまま症状が続いている者がいる、又は、過去２週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等の在住者との濃厚接触（１m程度以内で 15 分以上接触）がある	□はい	□いいえ

※　A欄で１項目以上又はB欄で２項目以上該当する場合は、当該受験者だけではなく他の受験者や試験監督者等の安全確保のため、当初試験日（2 月 25 日又は 3 月 12 日）に受験することはできませんので、医療機関を受診してください。

この場合、「（前期日程・後期日程）追試験」の受験を申請することができますので、申請受付期間内に必要な申請手続を行ってください。

Ⅴ. 個別学力検査等による選抜〔一般選抜（（前期日程・後期日程）追試験）〕

新型コロナウイルス感染症に罹患した（その疑いを含む。）入学志願者の受験機会を確保するため、一般選抜「前期日程」、「後期日程」では、志願者より申請があった場合に追試験を行います。

なお、追試験の追試験は実施しません。

1.　募集人員及び対象者

(1) 募集人員

課程・専攻		専修・履修分野		入学定員（名）	一般選抜（前期日程・後期日程）追試験 募集人員
学校教育教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修		255	若干名
		心理学専修			若干名
		幼年教育専修			若干名
		特別支援教育専修			若干名
	教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野		若干名
			中等教育履修分野		若干名
		社会科教育専修	初等教育履修分野		若干名
			中等教育履修分野		若干名
		数学教育専修	初等教育履修分野		若干名
			中等教育履修分野		若干名
		理科教育専修	初等教育履修分野		若干名
			中等教育履修分野		若干名
		音楽教育専修	初等教育履修分野		若干名
			中等教育履修分野		若干名
		美術教育専修	初等教育履修分野		若干名
			中等教育履修分野		若干名
		保健体育専修	初等教育履修分野		若干名
			中等教育履修分野		若干名
		家庭科教育専修	初等教育履修分野		若干名
			中等教育履修分野		若干名
		技術教育専修	中等教育履修分野		若干名
		英語教育専修	中等教育履修分野		若干名
	伝統文化教育専攻	書道教育専修			若干名
		文化遺産教育専修			若干名
合　計				255	若干名

(2) 追試験申請対象者

一般選抜（前期日程及び後期日程）出願者で、下記のいずれかに該当する者とします。

①新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者

②試験当日、健康状態チェックリスト（28 ページ参照）による確認の結果、Ａ欄で１項目以上又はＢ欄で２項目以上該当する者

③保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者※

※無症状の濃厚接触者から受験希望の申し出があり、決められた要件を満たしている場合は、原則として当初試験日での受験を認めることとします。詳細は 24 ページ【無症状の濃厚接触者への対応】を参照してください。

④海外から日本へ入国後の待機期間中の者

2. 申請手続

(1) 申請受付期間

【前期日程】

令和４年２月 24 日（木）　午前９時から午後５時（試験前日）

令和４年２月 25 日（金）　午前７時 30 分から午後１時（試験当日）

【後期日程】

令和４年３月 11 日（金）　午前９時から午後５時（試験前日）

令和４年３月 12 日（土）　午前７時 30 分から午後１時（試験当日）

(2) 追試験申請に必要な書類

・本学受験票（写）

・追試験受験申請書（本学所定の様式に必要事項を記入してください。）

・添付書類（下表のいずれかの書類を必ず添付してください）

添付書類	備考
自己申告書Ａ	「１．募集人員及び対象者」(2) 追試験申請対象者の①又は②に該当する場合は、本学所定の様式に必要事項を記入してください。
自己申告書Ｂ	「１．募集人員及び対象者」(2) 追試験申請対象者の③に該当する場合は、本学所定の様式に必要事項を記入してください。
自己申告書Ｃ	「１．募集人員及び対象者」(2) 追試験申請対象者の④に該当する場合は、本学所定の様式に必要事項を記入してください。

※ 追試験受験申請書、自己申告書の様式は、後日本学ホームページに掲載予定です。

・教育学部入試： https://www.nara-edu.ac.jp/admissions/undergraduate_admissionsl/

(3) 申請方法

1. **<u>本人又は代理人より、必ず入試課へ電話連絡をしてください。</u>**
2. 申請受付期間内に上記（2）の追試験申請に必要な書類を入試課宛に FAX 又は E-mail（PDF データ添付）で、送付してください。E-mail の場合は件名を「追試験申請」としてください。
3. FAX 又は E-mail の送信後、入試課へ電話連絡し、申請書等が到着しているか確認してください。
4. 3. の確認後、速やかに受験票を除く書類原本を本学入試課宛に簡易書留速達便で郵送してください。申請受付期間翌日の発信局（日本国内）消印のあるものまで受理します。なお、封筒の表面に（前期日程・後期日程）追試験受験申請書在中」と朱書きしてください。

※　FAX 又は E-mail で受信した内容と原本に相違がある場合は受理しません。

※　試験当日に試験科目を１つでも受験した者は、原則として追試験の対象とはなりません。

本件連絡先　奈良教育大学入試課（入学試験担当）

TEL	0742-27-9293
FAX	**試験前日　：**　0742-27-9145　　**試験当日　：**　0742-27-9149
E-mail	nyuusi@nara-edu.ac.jp

3. 追試験受験許可書

受験を許可する場合は、追試験受験許可書を郵送します。試験当日に必ず持参してください。

4. 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績、調査書等の内容を総合して選抜します。

(1)　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目・配点及び一般選抜個別学力検査等の教科・科目・配点は、**34～38 ページの表Ａ**に記載のとおりです。

(2)　実技検査等の内容・評価の観点は、**39～40 ページの表Ｂ**に記載のとおりです。

(3)　小論文の内容・評価の観点は、**40 ページの表Ｃ**に記載のとおりです。

(4)　面接の内容・評価の観点は、**40 ページの表Ｄ**に記載のとおりです。

(5)　専門科目の出題範囲は、**41 ページの表Ｅ**に記載のとおりです。

(6)　**音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修では、個別学力検査（実技検査）の得点（34 ページからの表Ａ「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄の「実技」の得点）が満点の 1/2 未満の場合は不合格となります。**

5. 配点

大学入学共通テスト、個別学力検査等の配点は、**34～38 ページの表Ａ**に記載のとおりです。

6. 試験期日と時間

			（前期日程・後期日程）追試験　3月23日（水）	
学校教育教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修	面　接	9:00～
		心理学専修	小論文	9:00～10:30
		幼年教育専修	面　接	9:00～
		特別支援教育専修	小論文	9:00～10:30
	教科教育専攻	国語教育専修	面　接	9:00～
		社会科教育専修	小論文	10:50～12:20
		数学教育専修	面　接	9:00～
		理科教育専修	理　科	9:00～10:30
		音楽教育専修	面　接	10:30～
			実技検査	13:10～16:00（※1）
		美術教育専修	面　接	9:30～
			実技検査	13:10～16:30（※2）
		保健体育専修	実技検査	13:10～17:00
		家庭科教育専修	面　接	9:00～
		技術教育専修	面　接	13:10～
		英語教育専修	英　語	10:50～12:20
	伝統文化教育専攻	書道教育専修	実技検査	13:10～15:00
		文化遺産教育専修	小論文 （選択問題として造形表現を含む）	9:00～10:30

（注）実技検査については、受験者数や天候により予定時間に試験が終了しない場合があります。

（※1）午前中の受験者数等により、実技検査開始時刻が前後する場合があります。

（※2）午前中の受験者数等により、実技検査開始時刻を遅らせる場合があります。この場合、終了時刻も遅くなります。実技検査時間には、課題に関する説明20分が含まれています。

7. 試験場

奈良教育大学（奈良市高畑町）
近鉄奈良駅・JR 奈良駅より市内循環バス「高畑町（たかばたけちょう）（奈良教育大学）」下車（裏表紙参照）

8. 受験についての留意事項

(1) **試験当日は自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。**また、大学周辺には、乗降のために停車できる場所がありませんので、**自動車による送迎は自粛し、公共交通機関等を利用してください。近隣店舗駐車場や周辺路上にて送迎目的での駐停車はしないでください。**

(2) **試験当日には、各自印刷した「本学受験票」、「追試験受験許可書」及び「令和 4 年度大学入学共通テスト受験票」を必ず持参し、正門で提示してください。正門の掲示により、試験場を確認してください。**

(3) (2)の受験票等を忘れたとき又は紛失したときは、ただちに、試験場本部へ申し出てください。

(4) 試験当日、各試験開始 15 分前までに掲示等の指示に従い入室してください。

(5) 試験室は掲示をよく見て確認のうえ、本学の受験番号と机上の番号が一致するよう着席し、本学受験票、追試験受験許可書及び令和 4 年度大学入学共通テスト受験票を机上の右肩に置いてください。

(6) 机上には受験票、筆記用具（黒又は青のボールペン、黒鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム）、腕時計（計時機能だけのもの）以外の物は置かないでください。参考書、身のまわりの物は椅子の下にまとめて置いてください。**試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。**

(7) **試験開始後 30 分を経過して遅刻した者は受験することができません。ただし、面接試験については開始時刻に遅刻した者は受験することができません。時間帯によっては、「市内循環バス」の運行に遅れが生じることがあります。あらかじめ経路、所要時間を確認した上、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。**

(8) 面接は、午前開始の場合でも、受験者数により一部受験者の開始時刻が午後になる場合がありますので、念のため昼食を持参してください。

(9) 試験開始後は、終了するまで途中退室はできません。トイレ等による退室は監督者の指示を受けてください。なお、トイレ等の一時退室による試験時間の延長は行いません。

(10) 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。

(11) 実技検査の集合時間は各試験開始時刻の 15 分前とします。なお、各集合室は掲示を確認してください。

(12) 以下の専修を受験する者は、次の物を持参してください。

- 教科教育専攻美術教育専修
  はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式(アクリル系絵の具は不可)、パレット、筆、水入れ、雑巾
  なお、立体製作の造形紙、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、仮とめ用クリップ、静物写生の紙、画板、イーゼル(画架)は、大学で用意しますので不要です。
- 教科教育専攻保健体育専修
  運動靴(屋内用と屋外用の2足)、運動服、必要に応じて、雨具(傘など)、飲料水
  ※スパイクシューズの使用は認めません。
- 伝統文化教育専攻書道教育専修
  太筆(半紙6字書き程度)、仮名用細筆、墨(墨汁も可)、硯、文鎮、練習用半紙、下敷(半紙用)
- 伝統文化教育専攻文化遺産教育専修
  鉛筆、消しゴム

(13) 教科教育専攻理科教育専修を受験する者は、個別学力検査の科目について、出願時に選択した科目しか解答できません。

(14) **本学の受験票及び大学入学共通テストの受験票は、入学手続、個人成績の開示請求等に必要ですので、紛失、汚損等のないよう大切に保管しておいてください。**

(15) **受験にあたっては、必ず 24 ページ「Ⅳ．新型コロナウイルス感染症への対応について」を確認してください。**

(16) 連絡事項があれば、大学のホームページに掲載します。

(17) 大学が受験のための宿舎等のあっせんを行うことはありません。

(18) 本要項に関して不明な点がある場合は、入試課へお問い合わせください。

9. 合格者の発表

令和 4 年 3 月 26 日（土）午前 10 時
本学ホームページ上で合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続に必要な書類を発送します。

なお、ホームページ上に掲載する合格者受験番号は、あくまでも情報提供サービスの一環として掲載するものであり、**正式には合格通知書で確認してください。**
電話などによる照会には応じられません。

10. 入学手続等

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。
なお、入学手続は本学に来学し、行っていただきます。

(1) 入学手続日
令和 4 年 3 月 30 日（水）　　午前 10 時～正午

(2) 納付金
① 入学料　282,000 円（予定額）
② 授業料　前期分 267,900 円〔年額 535,800 円〕（予定額）
③ 入学時諸費用　54,010 円
（内訳：後援会費 40,000 円、同窓会費 10,000 円、学生教育研究災害傷害保険等 4,010 円）

（注）ア．既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
イ．前期分の授業料（上記②）については、令和 4 年 4 月 1 日から令和 4 年 4 月 30 日までの間に納入してください。
ウ．上記の入学料及び授業料は、令和 3 年度入学者の金額であり、令和 4 年度入学者については、変更する場合があります。
エ．在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。
オ．入学時諸費用（上記③）を納入した者が、令和 4 年 3 月 31 日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により返還します。
カ．詳細については、合格者に配付される「入学手続要領」を参照してください。

(3) 入学手続に関する事前の連絡先等
入学手続日に本学に来学することができない場合には、次の期間に本学入試課へ申し出てください。
① 連絡先
奈良教育大学　入試課　0742-27-9126
② 期間
令和 4 年 3 月 26 日（土）　午前 10 時～正午

(4) 留意事項
① 入学手続日までに手続を完了しない場合は、本学への入学意思がなく、入学を辞退した者として取り扱います。
② 本学に入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。ただし、「後期日程」の合格者で入学手続を完了した者が、「前期日程」の追試験を受験し合格者となった場合にはこの限りではありません。
③ 入学後、専修ごとに、日帰り又は一泊での新入生学生研修の実施が予定されています。各専修により研修内容が異なるため、研修にかかる費用も異なりますが、宿泊を伴う場合は、10,000 円程度の費用が必要となることがあります。

11. 個人情報の利用について

11 ページ「12．個人情報の利用について」参照

表Ａ

令和４年度奈良教育大学入学者

学部・学科等名				大学入学共通テストの利用教科・科目名		
				教科	科目名等	
教育学部	学校教育教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修	国	国	必須
				数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報	から１
				地歴 公民 理	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ 現社、倫、政経、倫政経	から１
					Ａ 物基、化基、生基、地基 から2 Ｂ 物、化、生、地 から1	Ａ又はＢ
				外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1
				〔5教科5科目若しくは6科目〕		
			心理学専修	国	国	必須
				数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報	から１
				地歴 公民 理	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ 現社、倫、政経、倫政経	から１
					Ａ 物基、化基、生基、地基 から2 Ｂ 物、化、生、地 から1	Ａ又はＢ
				外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1
				〔5教科5科目若しくは6科目〕		
			幼年教育専修	国	国	必須
				数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報	から１
				地歴 公民 理	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ 現社、倫、政経、倫政経	から１
					Ａ 物基、化基、生基、地基 から2 Ｂ 物、化、生、地 から1	Ａ又はＢ
				外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1
				〔5教科5科目若しくは6科目〕		
			特別支援教育専修	国	国	必須
				数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報	から１
				地歴 公民 理	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ 現社、倫、政経、倫政経	から１
					Ａ 物基、化基、生基、地基 から2 Ｂ 物、化、生、地 から1	Ａ又はＢ
				外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1
				〔5教科5科目若しくは6科目〕		
		教科教育専攻	国語教育専修	国	国	必須
				数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報	から１
				地歴 公民 理	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ 現社、倫、政経、倫政経	から１
					Ａ 物基、化基、生基、地基 から2 Ｂ 物、化、生、地 から1	Ａ又はＢ
				外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1
				〔5教科5科目若しくは6科目〕		
			社会科教育専修	国	国	必須
				数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ 数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報	から１
				地歴 公民 理	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ 現社、倫、政経、倫政経	から２
					Ａ 物基、化基、生基、地基 から2 Ｂ 物、化、生、地 から1	Ａ又はＢ
				外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1
				〔5教科6科目若しくは7科目〕又は〔6教科6科目若しくは7科目〕		
			数学教育専修	国	国	必須
				数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ	から1
					数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報	から1
				地歴 公民 理	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ 現社、倫、政経、倫政経	から１
					Ａ 物基、化基、生基、地基 から2 Ｂ 物、化、生、地 から1	Ａ又はＢ
				外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1
				〔5教科6科目若しくは7科目〕		
			理科教育専修	国	国	必須
				数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ	から1
					数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報	から1
				地歴 公民 理	世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ 現社、倫、政経、倫政経	から１
					Ｃ 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 Ｄ 物、化、生、地 から2	Ｃ又はＤ
				外	英・英リ、独、仏、中、韓	から1
				〔5教科7科目若しくは8科目〕		

選抜の実施教科・科目等について（追試験）

個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	自己推薦書	配点合計
その他	面接	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500
		個別学力検査等									300		300
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800
その他	小論文	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500
		個別学力検査等								300			300
		計	100	※※100	※※100	100	100	100		300			800
その他	面接	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500
		個別学力検査等									300		300
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800
その他	小論文	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500
		個別学力検査等								300			300
		計	100	※※100	※※100	100	100	100		300			800
その他	面接	共通テスト	200	※※100	※※100	100	100	100					600
		個別学力検査等									300		300
		計	200	※※100	※※100	100	100	100			300		900
その他	小論文	共通テスト	100	○200	○200	100	100	100					600
		個別学力検査等								300			300
		計	100	○200	○200	100	100	100		300			900
その他	面接	共通テスト	100	※※100	※※100	200	100	100					600
		個別学力検査等									300		300
		計	100	※※100	※※100	200	100	100			300		900
理科	専門科目	共通テスト	200	※※100	※※100	200	200	200					900
		個別学力検査等					300						300
		計	200	※※100	※※100	200	500	200					1,200

表Ａ

令和４年度奈良教育大学入学者選抜の実施教科・科目等について（追試験）

学部・学科等名				大学入学共通テストの利用教科・科目名	
				教科	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育専攻	音楽教育専修	国数 地歴公民理 外	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A / 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から１ 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B / 現社、倫、政経、倫政経 から１ A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			美術教育専修	国数 地歴公民理 外	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A / 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から１ 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B / 現社、倫、政経、倫政経 から１ A 物基、化基、生基、地基 から２ B 物、化、生、地 から１ A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			保健体育専修	国数 地歴公民理 外	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A / 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から１ 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B / 現社、倫、政経、倫政経 から１ A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			家庭科教育専修	国数 地歴公民理 外	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A / 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から１ 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B / 現社、倫、政経、倫政経 から１ A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			技術教育専修	国数 地歴公民理 外	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A / 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から１ 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B / 現社、倫、政経、倫政経 から１ A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
			英語教育専修	国数 地歴公民理 外	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A / 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から１ 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B / 現社、倫、政経、倫政経 から１ A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕
		伝統文化教育専攻	書道教育専修	国数 地歴公民理 外	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A / 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 / 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B / 現社、倫、政経、倫政経 / A 物基、化基、生基、地基 から2 / B 物、化、生、地 から1 から１ ◆ 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目若しくは5科目〕
			文化遺産教育専修	国数 地歴公民理 外	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A / 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から１ 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B / 現社、倫、政経、倫政経 から１ A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 A又はB 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 〔5教科5科目若しくは6科目〕

個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	自己推薦書	配点合計
その他	実技検査(音楽実技)面接	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500
		個別学力検査等							350		100		450
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	350		100		950
その他	実技検査(美術実技)面接	共通テスト	100	▲100	▲100	100	100	100					500
		個別学力検査等							△350		150		500
		計	100	▲100	▲100	100	100	100	△350		150		1,000
その他	実技検査(体育実技) 自己推薦書	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500
		個別学力検査等							450			50	500
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	450			50	1,000
その他	面接	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500
		個別学力検査等									300		300
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800
その他	面接	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500
		個別学力検査等									300		300
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800
英語	専門科目	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	200					600
		個別学力検査等						300					300
		計	100	※※100	※※100	100	100	500					900
その他	実技検査(書道実技)	共通テスト	200	◎100	◎100	100 ◎100	◎100	100					500
		個別学力検査等							450				450
		計	200	◎100	◎100	100 ◎100	◎100	100	450				950
その他	小論文(選択問題として造形表現を含む)	共通テスト	100	※※100	※※100	100	100	100					500
		個別学力検査等								500			500
		計	100	※※100	※※100	100	100	100		500			1,000

表Ａにおける留意事項

1. 複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験した場合は、地理歴史、公民及び理科（基礎を付していない科目2科目）については第1解答科目の成績を、数学については高得点の科目の成績を用います。ただし、理科について、基礎を付した科目（2科目合計）及び基礎を付していない科目1科目を受験した場合はどちらか高得点の科目の成績を用います。
2. 美術教育専修については、複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験した場合は、地理歴史、公民から2科目を受験した場合及び理科（基礎を付していない科目2科目を受験した場合、又は基礎を付した科目（2科目合計）及び基礎を付していない科目1科目を受験した場合）、数学は、いずれもどちらか高得点の科目の成績を用います。
3. 外国語のうち「英語」を選択した場合は、リーディング（100点満点）を160点満点に、リスニング（100点満点）を40点満点に換算し、合わせて200点満点とします。リスニング免除者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算するものとします。
   なお、各専修で定めた配点が200点満点でない場合は、更にそれを各専修が定めた配点に換算するものとします。
4. 理科において、基礎を付した科目から2科目、基礎を付していない科目から1科目選択する場合、**同一名称を含む科目を選択しても構いません。**下記の例のような選択が可能です。

   例：基礎を付した科目→物理基礎、化学基礎
   　　基礎を付していない科目→化学

5. ※※は選択教科を示し、地理歴史、公民の第1解答科目の成績を用います。
6. ○は選択教科を示し、地理歴史、公民から2科目の成績を用います。
7. ▲は地理歴史、公民から２科目を受験した場合、高得点の科目の成績を用います。
8. △の配点内訳は、紙による立体製作を実技検査点数全体の 1/3、静物写生を実技検査点数全体の 2/3 とします。
9. ◆で理科を選択する場合は、Ａ又はＢから選択します。
10. ◎は地理歴史、公民の第１解答科目、理科の基礎を付した科目（2 科目合計）、理科の基礎を付していない科目の第１解答科目、数学（数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報）から高得点の科目の成績を用います。

表Ｂ

実技検査等の内容・評価の観点（追試験）

<table>
<tr><th colspan="2">専攻・専修</th><th colspan="3">内　容　・　評　価　の　観　点</th></tr>
<tr><td rowspan="2">教科教育専攻</td><td>音楽教育専修</td><td colspan="3">【検査内容】
以下の課題により、音楽的能力、理解力及び表現力をみます。
<table>
<tr><td>共通種目</td><td colspan="2">新曲視唱（8小節程度の旋律を階名視唱する。）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">選択種目</td><td>A</td><td>ピアノと声楽
1. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章
2. 下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。
(1) Sebben,crudele　Cardara　二短調又はホ短調（いずれかを選択）
(2) Lasciar d'amarti　Gasparni　ヘ短調
(3) Sogno　Tosti　変ロ長調又は変イ長調（いずれかを選択）
(4) 椰子の実　大中寅二　イ長調又はト長調（いずれかを選択）
(5) 浜辺の歌　成田為三　変イ長調又はヘ長調（いずれかを選択）
(6) 夏の思い出　中田喜直　ヘ長調又は変ホ長調（いずれかを選択）</td></tr>
<tr><td>B</td><td>管楽器とピアノ
1. 管楽器は任意の楽曲又は練習曲（1曲）
2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章</td></tr>
<tr><td>C</td><td>邦楽器とピアノ
1. 邦楽器（箏又は三味線）の任意の楽曲（1曲）
2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章</td></tr>
</table>
【評価の観点】
新曲視唱、ピアノ、声楽・管楽器・邦楽器の検査により、音楽科を担当する教師としての資質、音楽的表現力について評価します。
【持ち物】
選択種目Bを選択する者は音楽実技種目に記入した楽器を、Cを選択する者は邦楽器を各自持参してください。
【備考】
(1) 新曲視唱については、主和音、開始音のみ与えます。
(2) 選択種目はA・B・Cのうち、いずれか1つを選択してください。声楽曲は、調性を選んで記入してください。なお、出願後の変更は認めません。
(3) 選択種目はすべて暗譜で演奏してください。
(4) ピアノ、声楽及び管楽器の楽曲は、繰り返しを行わないこととします。
(5) 管楽器、邦楽器については、リハーサル室を設けますが、ピアノと声楽については、リハーサル室はありません。
(6) 選択種目Bの管楽器は、吹奏楽で使用される管楽器に限ります。
(7) 選択種目は入学後の専門領域を意味するものではありません。
(8) 新型コロナウイルス感染症対策のため、新曲視唱、ピアノ実技検査はマスクを着用したままで行います。マスク着用による発音の不明瞭さ、声量の大小は審査に影響はありません。</td></tr>
<tr><td>美術教育専修</td><td colspan="3">【検査内容】
以下の2課題を行います。
1. 紙による立体製作　1課題　1時間
＜Ｂ３判の両面色違いの造形紙（厚口５枚組）＞と＜Ｂ４判の両面色違いの造形紙（薄口５枚組）＞を使い、「優勝記念のトロフィー」「不思議な海賊船」「四本の足で立つ想像上の動物」「丈夫な塔」「恐ろしい花」「生き物の巣」「未来の建築」「怒りの仮面」などといった図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマで立体を作ります。
※当日はテーマを一つ指定しますが、上記のテーマはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。
2. 静物写生（着彩）　1課題　2時間
身近にある２つ程度のモチーフ［プラスチック容器、コップ、金属の缶、ハケ、布テープ、電球、スプレー型容器、マスク、箱型容器（洗剤）、タオル、ボックスティッシュ、軍手、食品用ラップ、紙袋、テニスボールなど］を机上に自由に組み合わせておき、Ａ３判画用紙に描きます。
※上記のモチーフはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。
【検査時間・配当時間】
上記の配当時間は、おおよその目安ですので、合計3時間の中で自分の計画にあわせて変えてかまいません。またこの合計3時間のほかに、「説明及び準備時間」をとります。
【評価の観点】
1.紙による立体製作課題について
発想・構想に工夫は見られるか、紙の特徴を生かしたつくり方（山折り、谷折り、じゃばら折りなど図画工作・美術の授業で用いる技法）をしているかなどを総合的にみます。
2.静物写生（着彩）について
形、材質感を捉えて表現できたか、色や画面構成は良いかなどを総合的にみます。
1、2の課題を通じて、図画工作や美術の授業で、子どもたちに創造活動の楽しさを味わわせることができる基盤となる資質・能力が備わっているのかをみます。
【持ち物】
はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式（アクリル系絵の具は不可）、パレット、筆、水入れ、雑巾を持参してください。その他の用具は持参してはいけません。
なお、立体製作の造形紙、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、仮とめ用クリップ、静物写生の紙、画板、イーゼル（画架）は、大学で用意するので不要です。</td></tr>
</table>

教科教育専攻	保健体育専修	【検査内容】 以下の3領域において、5種目の検査を行います。 1. 陸 上 運 動（50m走及びハンドボール投げ） 2. 器 械 運 動（鉄棒運動及びマット運動） 3. ボール運動（ドッヂボールを使った運動） 【評価の観点】 上記の課題によって、基本的な運動能力を総合的に評価します。 【持ち物】 運動靴（屋内用と屋外用の2足）・運動服を持参してください。また、必要に応じて、雨具（傘など）・飲料水を持参してください。 【備考】 (1) スパイクシューズの使用は認めません。 (2) 着替えやウォーミングアップについては、集合時に指示します。 (3) 雨天時には、上記の実技内容が一部変更されることがあります。
伝統文化教育専攻	書道教育専修	【検査内容】 以下の課題により、高校『書道Ⅰ』、『書道II』教科書に掲載されている古典程度の基礎的な書道の表現能力をみます。 1. 臨書　漢字（楷書・行書）、仮名。いずれも半紙使用 2. 創作　半紙使用（漢字及び仮名の課題を指定するので、いずれかを選択して創作してください。） 【評価の観点】 1の課題について 課題となっている古典の特徴を捉え、点画の用筆表現ができているか、指定された文言が半紙にバランスよく収めることができているかをみます。 2の課題について 漢字、仮名ともに、基本点画の用筆法ができているか、文字構造がしっかり形どられているかをみます。 1、2の課題を総合的に採点し評価します。 【持ち物】 太筆（半紙6字書き程度）、仮名用細筆、墨（墨汁も可）、硯、文鎮、練習用半紙、下敷（半紙用）を持参してください。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、検査内容等が一部変更となる場合があります。

表Ｃ

小論文の内容・評価の観点（追試験）

専攻・専修		内容・評価の観点
教育発達専攻	心理学専修	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。
	特別支援教育専修	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。
教科教育専攻	社会科教育専修	現代の社会に関する諸問題についての関心や知識を幅広く持っていることをみるために、人文、社会等の分野から選んだテーマに即して論述解答させます。出題の意図を正確に把握し、論理的に自分の考えや意見を述べることができるかどうかをみます。
伝統文化教育専攻	文化遺産教育専修	まず文化遺産に関する基礎知識と、対象観察力・文章表現力を総合的にみます。さらに、中学校美術免許取得を希望する者に対しては、与えられたモチーフの形体、材質感などを的確に捉えて抽出できたか、また構成は良いかなどに関する造形表現力をみます。中学校理科免許取得を希望する者に対しては、文化遺産に関連する自然科学の理解と認識をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。

表Ｄ

面接の内容・評価の観点（追試験）

専攻・専修		内容・評価の観点
教育発達専攻	教育学専修	集団面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。ただし、志願者数により、個人面接となることがあります。
	幼年教育専修	集団面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育（保育）についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。ただし、志願者数により、個人面接となることがあります。
教科教育専攻	国語教育専修	集団面接の形式で、本専修を志望した動機、教科内容に関する知識、入学後の学習計画、教職への意欲などについて問い、関心・意欲・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、個人面接となることがあります。
	数学教育専修	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（ベクトル、数列）に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	音楽教育専修	集団面接の形式で、志望の動機、音楽科教育についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。ただし、志願者数により、個人面接となることがあります。
	美術教育専修	個人面接の形式で、本専修を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い、関心・意欲・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。 ※ポートフォリオなどを、面接に持参することはできません。
	家庭科教育専修	個人面接の形式で、本専修を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い、関心・意欲・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	技術教育専修	個人面接の形式で、本学を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、面接の形式が変更となる場合があります。

表Ｅ

専門科目の出題範囲（追試験）

専攻・専修		科目	出題範囲
教科教育専攻	理科教育専修	理科	①「物理基礎・物理」 ②「化学基礎・化学」 ③「生物基礎・生物」 ④「地学基礎・地学」 いずれか選択 （注）選択科目しか受験できません。
	英語教育専修	英語	英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ

Ⅵ. 入試情報の開示について

令和４年度一般選抜における個人成績の開示（不合格者のみに開示）

(1) 開示内容

下記①、②を文書送付により通知します。なお、成績内容についての問い合わせには応じられません。

① 大学入学共通テストの得点（総点）、本学が実施した個別学力検査等の得点（総点）及び総合点

② 合格最低点（総合点）との得点差を４段階（A～D）で示したもの

(2) 開示請求方法

必要事項を記入した「入試個人成績開示申請書（本学所定）」に、本学受験票（原本）及び返信用封筒（404 円分の切手を貼付した、受験者本人宛の定形郵便封筒）を添えて、開示請求期間内に提出してください。

※ 入試個人成績開示申請書は、本学ホームページ及び郵送にて配付します。郵送による配付を希望する者は、表に「入試個人成績開示申請書請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒（84 円分の切手を貼付した、受験者本人宛の定形郵便封筒）を入れて、下記提出先まで送付してください。

〔開示請求期間〕令和４年５月２日（月）～令和４年５月 31 日（火）（必着）

（窓口での申請書配付は、午前９時～午後５時。ただし、正午～午後１時及び土・日曜、祝日を除く。）

〔提　出　先〕〒630-8528　奈良市高畑町　奈良教育大学　入試課

(3) その他

対象は、令和４年度一般選抜です。

前期日程、後期日程試験の両方を受験した者に対する個人成績の開示請求は、前期日程、後期日程試験の両方とも不合格であった場合に限ります。

開示請求期間終了後に、個人成績を郵送します。

Ⅶ. 障害等のある入学志願者との事前相談

本学を受験しようとする障害等のある入学志願者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、本学に申し出て必ず事前に相談してください。

(1) 相談の期日

令和４年１月 19 日（水）まで（必着）

(2) 相談の方法

学長宛に次の事項を記載した相談書類（様式任意）に医師の診断書を添付し提出してください。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

① 氏名及び出身学校名
② 障害等の種類、程度
③ 志望予定専攻・専修・履修分野名
④ 受験上の特別な措置を希望する事項
⑤ 修学上の特別な配慮を希望する事項
⑥ 出身学校でとられていた特別措置等の事項
⑦ 日常生活の状況
⑧ 連絡先（住所、電話番号等）

(3) 提出先

〒630-8528　奈良市高畑町　奈良教育大学　入試課

以下様式見本

令和4年度奈良教育大学出願登録確認票

フリガナ 氏　　名		受験番号	※
生 年 月 日		性　別	

連絡先	電話番号	自宅(　　)　　－　　携帯電話(　　)　　－	
	住　　所	〒　　－	
保護者氏名		保護者連絡先	〒　　－ 電話(　　)　　－

出願資格		出身学校電話番号	(　　)　　－
		卒業年月	

志望する専攻・専修・履修分野	専攻	専修	第1志望履修分野	第2志望履修分野
	理科教育専修選択科目	★		

1. 令和4年度大学入学共通テスト受験科目

教科	科目
国　語	
地理歴史 公　民	
数　学	

教科	科目
理　科	
外国語	

2.令和4年度大学入学共通テスト成績請求票貼付欄

貼　付　欄
□ 令和4共通テスト 成績請求票 国公立　期日程用

No.

3. 音楽実技選択科目 ☆

ピアノ			
A	声楽		
B･C			

●●●点線で切り取らないでください。
●●★印欄は理科教育専修志願者のみ、※印欄は記入しないでください。
音楽教育専修志願者のみ入力内容が表示されます。☆印欄は

令和4年度奈良教育大学 ○

保健体育専修志願者用

写 真 票(副)

受験番号	※	
フリガナ		性別
氏　名		

●**保健体育専修志願者**は右の「**写真票**」と同一の写真をこの「**写真票(副)**」にも貼付してください。

写真貼付欄
(4cm×3cm)

写真の裏に氏名を記入すること。

令和4年度奈良教育大学 ○

写　真　票

受験番号	※		
フリガナ			性別
氏　名			
専攻･専修			
履修分野	第1志望		
	第2志望		

写真貼付欄
(4cm×3cm)

写真の裏に氏名を記入すること。

前期日程用

保健体育専修志願者のみ提出のこと

令和4年度　奈良教育大学
スポーツ・運動歴調書

※受験番号　記入しないでください。

登録番号：

フリガナ		生年月日	
氏　　名		性　　別	

出　身 学校等	出身学校名			所　在 都道府県	
所　属 運動部名		種目・ ポジション			
	大会・発表名 （大会規模）	開催日	種目・ポジション	成　績　又　は　記　録	
成績又は記録 1	（　　）				
成績又は記録 2	（　　）				
成績又は記録 3	（　　）				
（備考欄）					

本調書の記載事項に誤りがないことを証明する。

令和　　年　　月　　日

学校所在地

学　校　名　　記載責任者

学　校　長　　印　　印

※別紙の記入上の注意事項をよく読み、正しく記入してください。

後期日程用

保健体育専修志願者のみ提出のこと

令和4年度　奈良教育大学
スポーツ・運動歴調書

※受験番号　記入しないでください。

登録番号：

フリガナ		生年月日	
氏　　名		性　　別	

出　身 学校等	出身学校名			所　在 都道府県	
所　属 運動部名		種目・ ポジション			
	大会・発表名 （大会規模）	開催日	種目・ポジション	成　績　又　は　記　録	
成績又は記録 1	（　　）				
成績又は記録 2	（　　）				
成績又は記録 3	（　　）				
（備考欄）					

本調書の記載事項に誤りがないことを証明する。

令和　　年　　月　　日

学校所在地

学　校　名　　記載責任者

学　校　長　　印　　印

※別紙の記入上の注意事項をよく読み、正しく記入してください。

令和３年 11 月

関係学校長　殿

奈良教育大学

スポーツ・運動歴調書の作成についての依頼

本学の学校教育教員養成課程教科教育専攻保健体育専修志願者は、本人の出身学校在学中または過去 3 年間のスポーツ・運動歴を入学者選抜の参考としますので、下記の点にご留意のうえ、本学所定の様式を用いて「スポーツ・運動歴調書」を作成願います。

記

１．調書は、別紙の注意事項をよく読んで、学級担任または学校長等が責任をもって記載してください。

２．スポーツ・運動歴調書は、記載した成績・記録を証明する資料を添付したうえで厳封し、本人氏名、「スポーツ・運動歴調書在中」と明記のうえ志願者に交付し、出願登録確認票や調査書等の出願書類とともに提出させてください。

３．本学の「前期日程」及び「後期日程」の両方に出願する志願者の場合、「前期日程用」・「後期日程用」をそれぞれ作成願います。

以上

スポーツ・運動歴調書記入上の注意事項

スポーツ・運動歴調書は、出身学校在学中または過去 3 年間の成績、記録について記入してください。

【成績又は記録の記入方法について】

1. 出身学校在学中又は過去 3 年間で最もよい成績・記録と思われるものを 3 点以内であげてください。
2. 「大会・発表名」は、都道府県大会等の公式な大会・発表会で、本人が正式に登録された選手等として出場したものを記入してください。
   「大会・発表名」は、省略せずに正式な名称を記入してください。
   「(大会規模)」は、以下の 1～5 の中から選んで、その番号を（　　）の中に書いてください。
   「5：その他」の場合は、備考欄に大会規模についての説明を記入してください。
   1：全国大会以上
   2：ブロック大会（例：近畿ブロック、西日本ブロック　等）
   3：都道府県大会（例：大阪府、奈良県　等）
   4：地域大会（例：○○市、○○郡、○○県東部地区　等）
   5：その他
3. 「種目・ポジション」は、下記のように記入してください。
   個人的スポーツの場合　→　陸上 100m、体操競技
   集団的スポーツの場合　→　サッカー　フォワード、バレーボール　セッター
   ダンスの場合　→　作品名　踊り手、作品名　作・演出
4. 「成績又は記録」は、その大会・発表の成績又は記録だけでなく、必ずレギュラー・補欠の別も記入してください。

（記入例）

出　身 学校等	出身学校名	奈良教育大学附属高等学校	所　在 都道府県	奈良県
所　属 運動部名	水球部	種目・ ポジション	水球・フォワード	

		大会・発表名 （大会規模）	開催日	種目・ ポジション	成績又は記録
	1	インターハイ 夏季大会 （　1　）	令和元年 8 月	水球・フォワード	ベスト 8 レギュラー

【備考欄について】

集団的スポーツ等で、個人として優秀な成績を修めた場合や、武道等で段位を所有している場合も記入してください。

（記入例）

（備考欄） 令和元年度○○大会優秀選手に選ばれる。

【その他】

1. 出身学校のクラブではなく、地域のクラブ等で上記の者と同等の成績を上げた場合も、学級担任等が確認のうえ記入してください。
2. 「成績又は記録」欄に記載した成績・記録については、本文の成績・記録を証明する個人名が記載された資料（**新聞、大会記録書の写を A4 版にしたもの**）を必ず添付してください。やむを得ない理由により資料が用意できない場合は、その旨を備考欄に記入してください。(例:「1 の記録については資料なし」等)
3. 該当するスポーツ・運動歴がない場合は、備考欄に「該当なし」と記入して、**本調書は必ず提出**してください。
4. **厳封したうえで、志願者に交付してください。**

前期日程用

保健体育専修志願者のみ
提出してください。

自 己 推 薦 書

※受験番号

フリガナ	
氏名	

以下の項目の内容を含め、合計800字以内で自己推薦書を書いて下さい。

1.子どもの成長と発達に寄り添い関わっていき、教育を通じてよりよい社会を築いていくために、自分が出来ることは何ですか。
2.あなたは、どのように「他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かう」ことができますか。これまで行ってきたスポーツ活動や学校・社会生活で積極的に取り組んできたことを事例として述べて下さい。

(32×25)　(800字)

－見本6－

後期日程用

保健体育専修志願者のみ
提出してください。

自 己 推 薦 書

※受験番号

フリガナ	
氏名	

以下の項目の内容を含め、合計800字以内で自己推薦書を書いて下さい。

1.子どもの成長と発達に寄り添い関わっていき、教育を通じてよりよい社会を築いていくために、自分が出来ることは何ですか。
2.あなたは、どのように「他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かう」ことができますか。これまで行ってきたスポーツ活動や学校・社会生活で積極的に取り組んできたことを事例として述べて下さい。

(32×25)　(800字)

－見本7－

速　達

簡易書留

6 3 0 − 8 5 2 8

奈良市高畑町

奈良教育大学　入試課　行

簡易書留・速達

折り曲げ厳禁

出願書類在中

※1.次の内容に間違いがないか、必ず確認してください。
　2.本紙の印刷はモノクロでも可。ただし、簡易書留速達の部分は印刷後に赤で塗るなどして「簡易書留速達」である事を示してください。
　3.本紙を市販の封筒（様式任意）の表に貼付し簡易書留速達で郵送してください。

住所	〒
氏名	フリガナ

【一般選抜前期日程】【一般選抜後期日程】

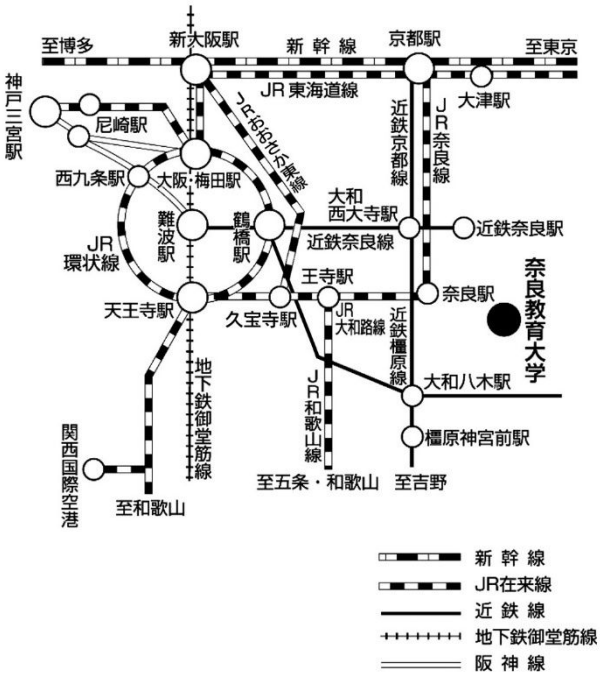
※該当する区分を囲んでください。

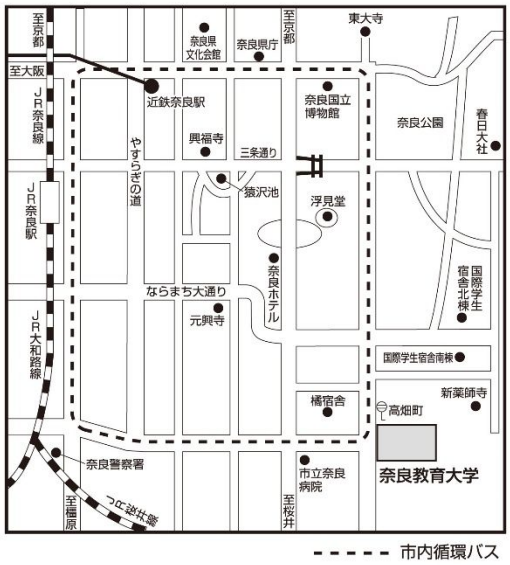
◎次の表の出願する入試区分に〇印をつけ、対象の出願書類を確認してください。

入試区分 / 出願書類 ※前期・後期に同時に出願する場合は、前期・後期に分けて一つの封筒にまとめて封入し、送付してください。	一般選抜（前期日程）	一般選抜（後期日程）
出願登録確認票	必須	必須
写　真　票	必須	必須
大学入学共通テスト成績請求票	必須	必須
調　査　書	必須	必須
保健体育専修志願者用 写 真 票（副）	【保体】	【保体】
スポーツ・運動歴調書	【保体】	【保体】
自己推薦書	【保体】	【保体】

−備考−
　必須・・・出願する場合に提出が必要です。
　【保体】・・・保健体育専修志願者は、提出が必要です。

試験場への順路





京都駅から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪駅から

ＪＲ東海道本線で大阪駅へ、ＪＲ大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪駅から

ＪＲ大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波駅から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺駅から

ＪＲ大和路快速で、ＪＲ奈良駅まで約33分＋市内循環バスで約15分「高畑町」下車すぐ
ＪＲ大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮駅から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約90分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

問い合わせ先

〒630-8528　奈良市高畑町
奈良教育大学　入試課
TEL　0742-27-9126
FAX　0742-27-9145
ホームページ　https://www.nara-edu.ac.jp/
E-mail　nyuusi@nara-edu.ac.jp